

2022（令和4）年度

駒澤大学 × SDGs 活動報告書



駒澤大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



目 次

1. 学長メッセージ	03
2. SDGs とは	04
3. 駒澤大学SDGs 実行宣言	05
4. 2022（令和4）年度 駒澤大学における「SDGs」について取組み	07
(SDG：1) 貧困をなくそう	08
(SDG：2) 飢餓をゼロに	09
(SDG：3) すべての人に健康と福祉を	11
(SDG：4) 質の高い教育をみんなに	16
(SDG：5) ジェンダー平等を実現しよう	23
(SDG：6) 安全な水とトイレを世界中に	30
(SDG：7) エネルギーをみんなに そしてクリーンに	31
(SDG：8) 働きがいも経済成長も	35
(SDG：9) 産業と技術革新の基盤をつくろう	38
(SDG：10) 人や国の不平等をなくそう	41
(SDG：11) 住み続けられるまちづくりを	44
(SDG：12) つくる責任 つかう責任	52
(SDG：13) 気候変動に具体的な対策を	55
(SDG：14) 海の豊かさを守ろう	58
(SDG：15) 陸の豊かさも守ろう	59
(SDG：16) 平和と公正をすべての人に	61
(SDG：17) パートナリーシップで目標を達成しよう	65
(SDGs 全般)	75

学長メッセージ

国連が2030年までに世界中の国々が達成を目指すべき共通の目標として掲げた「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」を受け、世界中で、また日本国内でもさまざまな取り組みが進んでいます。

駒澤大学のSDGsの原点は、建学の理念「仏教の教えと禅の精神」にある「智慧（ちえ）と慈悲（じひ）」の心にあります。「智慧と慈悲」は、本質の洞察に基づいて、あらゆるものを大切に扱うということです。この心は、SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない社会の実現（leave no one behind）」と通じるものであり、SDGsの17の目標は、本学が目指し続けてきた社会の実現のための目標でもあります。

2021年4月に学長就任の際、本学の目指すべき方向性として、「デジタル化（DX）の推進による大学のマネジメント改革」と「ダイバーシティ（多様性）の尊重による個を活かす大学」の2つを掲げ、今日までこれを推進して参りました。

ダイバーシティの尊重は、SDGsの17の目標の中の目標5であるジェンダー平等につながっています。多様性といってもその内容は多岐に渡りますが、中でもわかりやすいのがジェンダーギャップ指数です。その分かり易い項目について、わが国は先進国の中で最下位にあります。本学が掲げる「ダイバーシティの尊重による個を活かす大学」という目標は、共生社会の実現につながるものです。

そして、デジタル化はダイバーシティの尊重を支える大切な手段です。オンラインツールを使うことによって、学び方、働き方にさまざまな選択肢が出現しました。一人ひとりが自分に合った選択ができることは、ダイバーシティの尊重、個の尊重につながります。

SDGsの1つ1つの目標をみていると、個人では達成が難しいように感じるかもしれません。昨年度、本学では数多くのSDGsの取り組みがありました。それぞれの取り組みの報告を読みますと、多様なステークホルダーが互いを思い合い、意見を交わし、協働して課題解決のために取り組まれたことが伝わってまいりました。

「誰かのために行う」ということが、すべてSDGsにつながるのだということを改めて感じております。

持続可能な社会を実現する方法は多様にあります。『駒澤大学×SDGs活動報告書』に掲載されている取り組み事例が、個人レベルでの取り組みのヒントになれば幸いです。本報告書を通じて、これからも本学のSDGs活動について紹介してまいります。

今後も、駒澤大学の根幹である「仏教の教えと禅の精神」にある「智慧と慈悲」をSDGs活動に取り組む際の心のよりどころとしながら、個が生きる社会の実現に向けて、教職員、学生、地域社会、様々なステークホルダーと協働し、一層取り組みを推進いたします。

駒澤大学学長 各務 洋子

SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

（出典：外務省ホームページ）

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

■SDGs17の目標



あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う



すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する



気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化



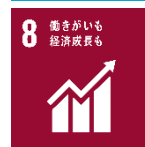
飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する



すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する



国内及び各国家間の不平等を是正する



持続可能な消費生産形態を確保する



持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

駒澤大学 SDGs実行宣言

駒澤大学は、近未来における地球的規模での危機を十分に認識し、人類及び世界における持続可能な社会の構築のために2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」に共感・賛同し、その達成に向けて、各国・各機関・各組織等をはじめとする様々な人々と密接に協力し、本学の教育・研究等の諸活動において、全学的に、積極的に貢献していくことを、ここに宣言します。

駒澤大学は、建学の理念「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」に基づき、「ともに、よりよい明日を築く」ことをその使命としてまいりました。これを原点として、近時、喫緊の課題となっている「ダイバーシティ&インクルージョン（多様性を認め、受け入れて活かすこと）」を推し進めるために、〈個〉を活かした「しなやかな大学の実現」を目指しています。

私たちは、長きにわたって本学が堅持してきた仏教的価値観が、「SDGs」という人類の英知に基づく網羅的な課題認識と呼応すると受け止め、「誰一人取り残さない社会の実現」と、「あらゆる存在を尊重する社会の実現」に向けて、今後とも主体的に目指してまいります。

「誰一人取り残すことなく、ともに、あらゆる存在を尊重する社会の実現」のために、本学は教職員、学生、地域社会など、様々なステークホルダーと協働し、以下のSDGsの達成に向けた行動目標を定め、積極的かつ具体的に取り組みを進めてまいります。

SDGsの達成に向けた行動目標

- (教育) 駒澤大学は、質の高い教育の維持に努め、自ら考え、行動する人材を育成します。
- (研究) 駒澤大学は、専門的な学問の研究、技術開発の研究を推進し、その実践を目指します。
- (協働) 駒澤大学は、パートナーと協働し、知の拠点として情報を発信し、SDGsの達成に貢献します。

2022年3月25日
駒澤大学



Komazawa University SDGs Declaration

Komazawa University is fully cognizant of the risk of a global-scale crisis in the near future. We support the Sustainable Development Goals (SDGs), which were adopted at the September 2015 UN Summit with the aim of building a sustainable society for people and for the world. We hereby declare our intention to work closely together with countries, institutions, organizations, and various other parties and, through our education and research activities, to contribute to the achievement of these goals.

“Buddhist Teachings and the Spirit of Zen” are our founding principles, and our mission is “building a brighter future, together.” In order to encourage diversity and inclusion, which has in recent years become an issue of great importance, we seek to become a flexible university that maximizes “individuality.”

We have been committed to Buddhist values for many years, and we believe these values are closely compatible with SDGs, which are a reasoned summation of the issues facing our planet. Going forward, we will actively seek to realize a society in which no one is left behind, and in which all forms of life are respected.

For the sake of a society in which no one is left behind, and in which all forms of life are respected, our university has worked together with various stakeholders—including our academic staff, students, and local communities—to formulate the target actions listed below to achieve SDGs. We will actively implement concrete initiatives to this end.

Target actions to achieve SDGs:

- | | |
|-----------------|---|
| (Education) | At Komazawa University, we will endeavor to provide a consistently high level of education, and nurture people capable of thinking and acting for themselves. |
| (Research) | At Komazawa University, we will encourage research in specialized fields of learning and research in technical development, and seek to put the fruit of this research into practice. |
| (Collaboration) | At Komazawa University, we will work together with our partners, transmit information as a bastion of learning, and contribute to the realization of SDGs. |

Komazawa University
April 28, 2022



2022年度 駒澤大学における「SDGs」についての取り組み

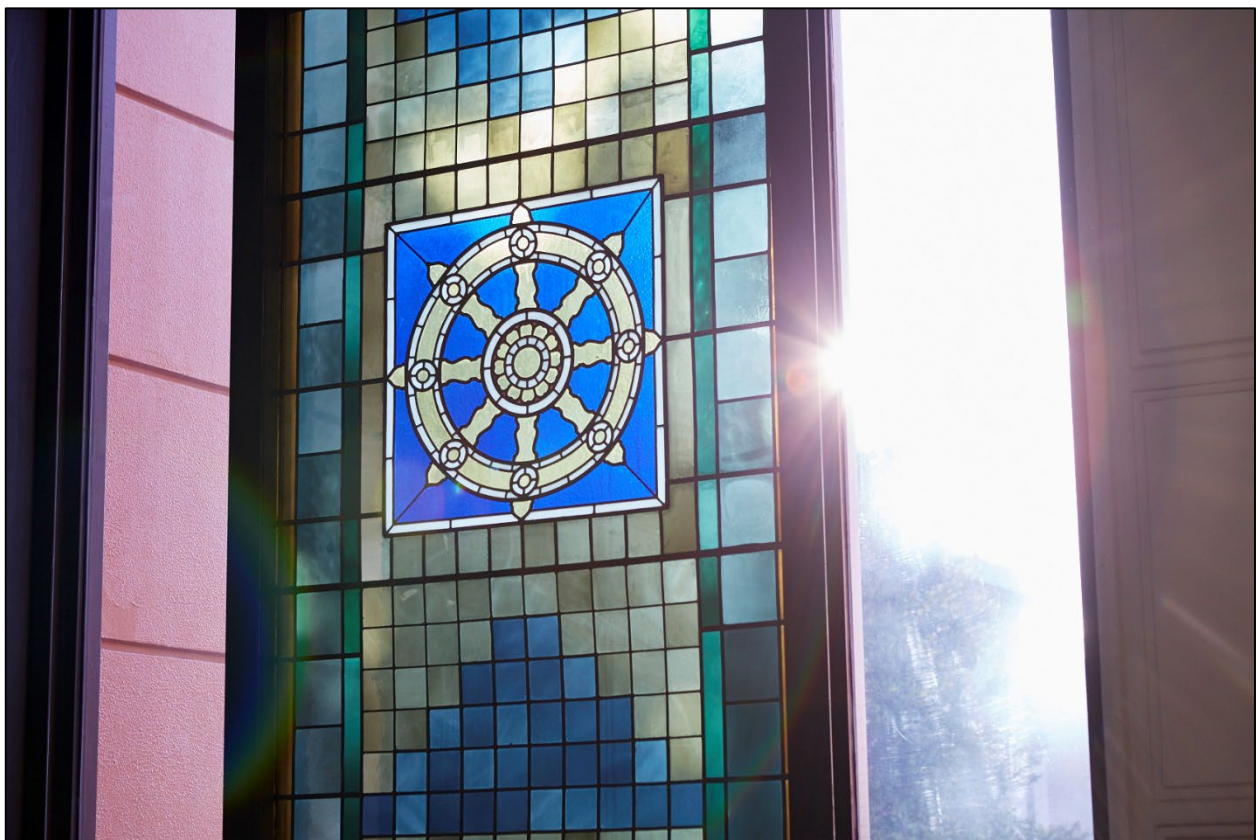
駒澤大学では、「SDGs」に関連した取り組みを行っています。

また教育活動、研究活動においても「SDGs」について取り扱い、その目指す社会の実現に向けて広く活動を行っています。

ここでは2022年度の本学の取り組みの一部を17の目標別に紹介します。

また、SDGsの一層の理解と活動のさらなる活性化に向けて、今年度より本報告書とは別に「駒澤大学×SDGs 学生対象意識調査結果報告書」を発行することとなりました。

本学ホームページにて公開していますのであわせてご覧ください。





新型コロナウイルス感染症に係る影響を受けた学生等に対する支援プロジェクトについて

駒澤大学では、コロナ禍の影響を受けている学生などを主な対象として、2021年度より、食料品・生理用品支援（無償配布）を行っています。学内外から本プロジェクトに対していただいた寄付金を原資としているほか、ご賛同くださった企業・団体からも無償や特別価格での商品提供をいただいています。

「食」支援プロジェクト（2021年度からの継続事業）

第4弾「食べて、学んで、SDGs」：2022年7月20日（水）～22日（金）

《協力企業様・団体様（敬称略）》

一般社団法人全国包装米飯協会、サトウ食品株式会社、株式会社たかの、
 有限会社ドリームズファーム、カルビー株式会社、平和食品工業株式会社
 株式会社StockBase、株式会社富士通エフサス、森ビル株式会社、三菱地所株式会社
 一般社団法人日本パスタ協会、株式会社ニッポン、東急株式会社、株式会社ギンビス
 アイムライズ株式会社、株式会社JALUX、世田谷区社会福祉協議会、きしょう こども食堂



食料品支援（小規模開催）12月

玉川地域の社会福祉協議会様の寄付をいただき、約50名の学生に対してレトルト食品等の現物配布支援を行いました。
 2022年12月23日～



食料品支援・生理用品支援（小規模開催）1月

深沢地域の社会福祉協議会様から食料品の寄付、世田谷区から生理用品の寄付をいただき、約100名の学生に対してレトルト食品や生理用品の現物配布支援を行いました。
 2023年1月27日～



2 飢餓を
ゼロに



飢餓を終わらせ、食料安全保障及び
栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する

「100円朝食」の取り組み

この取り組みは、在学学生を対象に学生食堂で100円の朝定食を毎朝提供するというもので、親元を離れて一人暮らしをする学生もいる中で、栄養に配慮した朝食を安価に提供し、食育の視点から学生生活をサポートすることを目的としています。本取り組みは、父母の会である「駒澤大学教育後援会」の支援により実施しています。

・カルビー株式会社の協力を得て100円朝食でフルグラ（R）を提供

カルビー株式会社の協力により、本学が実施している100円朝食で、従来のメニューに加えて新たにフルグラ（R）1,000食分を提供しました。

また、同社による大学生の朝食実態に関する意識調査アンケートを並行して実施し、学生生活の充実感や意欲と朝食との関係などを調査しました。

実施期間：6月20日（月）～24日（金）

・グローバル・メディア・スタディーズ学部の各務洋子ゼミが100円朝食のメニューを発案

グローバル・メディア・スタディーズ学部の各務洋子ゼミが、持続可能な食生活の推進を目的に、100円朝食のメニューを発案しました。

7月12日（火）～14日（木）の期間、SDGsプロジェクト「肉革命」で発案した100円朝食のメニューを学生食堂で提供しました。今回は「ソイミートのビーンズトマトカレー」を1日100食（3日目は80食）で提供しました。

11月7日（月）～11日（金）の期間、「地球と健康に“よりソイ”Week in 駒沢食堂」を実施しました。これは各務ゼミの「Key Story」チームが、メーカー8社が参画する「肉の日に大豆ミート」プロジェクトと共同して100円朝食のメニューを発案し、学生食堂で販売するものです。今回は本学学生を対象に日替わりの大豆ミートメニューを1日100食で提供し、全日完売しました。

なお、この「Key Story」チームは、「持続可能な食生活の推進を目指して」というテーマで11月13日（日）に行われた「第62回インナー大会プレゼンテーション部門本選」に出場し、最優秀賞を受賞しました。



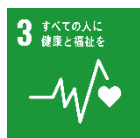
学生食堂でメニューを紹介するゼミ生の皆さん



大豆ミートメニュー例



第62回インナー大会プレゼンテーション部門本選で最優秀賞を受賞した「Key Story」チーム



2 飢餓を
ゼロに




飢餓を終わらせ、食料安全保障及び
栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する

SDG:2を取り扱った授業

2 飢餓を
ゼロに



専門教育科目	「演習Ⅰ」
担当教員	中村 公一（経営学部 経営学科）
概要	世田谷区フードロスコンテストへの参加 世田谷区が取り組んでいるフードロスの啓発に対するアイデアを考える。
	



3 すべての人に
健康と福祉を



あらゆる年齢のすべての人々の
健康的な生活を確保し、福祉を促進する

保健管理センターの取り組み

保健管理センターは医療の専門的立場から、学生・教職員の健康の回復・保持・増進のための支援をしています。

・アルコールパッチテスト

第1回 6月13日（月）～24日（金） ※土・日を除く

第2回 7月13日（水）～15日（金）

第3回 10月25日（火）～28日（金）

・栄養管理講習会

【「いつ」「何を」「どうやって」食べていますか
—学生食堂を上手に利用してバランスの良い食生活を—】

日時 7月20日（水） 15：30～17：30

講師 廣津 理佳子 氏（管理栄養士 株式会社メルコーポレーション）

・応急手当講習会

目の前で倒れている人が心停止の可能性がある場合には一刻も早い救命処置が必要です。保健管理センターではAED（自動体外式除細動器）の使い方の講習会を実施しています。講習会終了後に「受講証」を発行します。

第1回 6月27日（月）～7月8日（金） ※土日を除く

第2回 10月17日（月）～19日（水）

・手洗い講習会

11月8日（火）・14日（月）・16日（水）・24日（木）・12月2日（金）

・講習会

【女性アスリートの月経コンディショニングセミナー】

開催日：12月17日（土）

会場：駒澤大学玉川キャンパス 305教場



Hand washing workshop

手洗い講習会

キレイに洗ったつもりでも
洗い残しがあるかもしれません。

ブラックライトで洗い残しを
見える化
Visualization
してみませんか？

5日間開催！

日程：
11月8日（火）
11月14日（月）
11月16日（水）
11月24日（木）
12月2日（金）

場所：種月館1Fロビー
時間：13:00～14:00
16:30～17:30
持ち物：学生証
※ 事前予約は不要です

洗剤クリーンボールを使って
ブラックライトで照らした時に
白く見える部分が残っています。

保健管理センターでは
講習会スタンプラリーを
実施中！4つためると素敵な
景品を
プレゼント！

駒澤大学 保健管理センター

3 すべての人に
健康と福祉を



あらゆる年齢のすべての人々の
健康的な生活を確保し、福祉を促進する

駒澤大学学生赤十字奉仕団が日本赤十字社より銀色有功章を受賞

駒澤大学学生赤十字奉仕団が、日本赤十字社より銀色有功章を受賞しました。

これは、活動継続年数15年以上で、かつ特に功労顕著にして他の範となるものを対象に送られる章です。

また、本学学生赤十字奉仕団では、東京理科大学学生赤十字奉仕団・東京家政大学学生赤十字奉仕団・大東文化大学学生赤十字奉仕団の3団との交流を行っており、「4大学交流会」を毎年共催しています。今年の8月に日本赤十字社東京都支部で実施した4大学交流会の様子が、広報誌「NT 2022 Autumn Vol.35」に掲載されました。



コミュニティ・ケアセンターの取り組み

駒澤大学コミュニティ・ケアセンターでは、メンタルヘルス、対人関係、お子さんの発達・教育などに関する問題や悩みについて心理的援助（カウンセリング、心理テスト、自律訓練法等）を行っています。

・コミュニティ・ケアセンター 第34回 公開講座 【今こそ見直そう 心のセルフケア withコロナに向けて】

日 時：12月17日（土） 13：30～15：30

講演1：食事と運動から心身を穏やかに

講 師：小堀 晶子

（駒澤大学 コミュニティ・ケアセンター相談員）

講演2：自分を知ることから心身を穏やかに

講 師：上島 奈菜子（文学部 心理学科 講師）

第34回公開講座
駒澤大学コミュニティ・ケアセンター

今こそ見直そう
心のセルフケア
With コロナに向けて

いまいちど自分の心とからだを見つめなおし
健康に、穏やかに過ごすヒントを見つけてみませんか？

2022年12月17日（土） 入場無料
13:30～15:30 (13:00開場) 先着順 50名

場所 中央講堂
駒沢キャンパス (本部棟4階)

01 食事と運動から心身を穏やかに
13:30～ 小堀 晶子 先生 駒澤大学 コミュニティ・ケアセンター相談員

02 自分を知ることから心身を穏やかに
14:30～ 上島 奈菜子 先生 駒澤大学 文学部心理学科講師

3 すべての人に
健康と福祉を



あらゆる年齢のすべての人々の
健康的な生活を確保し、福祉を促進する

「いつでもつながる相談窓口」の開設

学生支援センターの新規事業として、4月1日より、保健管理センター、外部機関と連携し、健康面・メンタル面で不安を抱える学生・保護者等が大学サービス提供時間外に活用できる無料相談窓口「いつでもつながる相談窓口」を開設しました。

学生・保護者等の様々な不安を緩和するため24時間シームレスな相談環境を提供します。

生涯学習について（健康づくり教室）

本学では、大学における研究と教育の成果を広く社会に還元し、また大学の施設を開放することにより、地域の皆さまの健康増進の一助となることを目的とし、昭和59年4月から「健康づくり教室」を開講しています。



一昨年度より新型コロナウイルス感染症の影響のため、従来の「健康づくり教室」の開講は見合わせておりましたが、10月そして2023年1月に感染症対策を講じながら、少人数の無料講座として『はじめてのウォーキング・ジョギング』コースを開講しました。今後も、地域の皆さまの健康増進に役立つ講座を目指してまいります。



3 すべての人に
健康と福祉を



あらゆる年齢のすべての人々の
健康的な生活を確保し、福祉を促進する

「スポーツフェスティバル in 玉川 2022」

11月23日（水・祝）に、玉川キャンパスにおいて「スポーツフェスティバル in 玉川 2022」を3年ぶりに開催しました。

これは「大学と地域社会との交流」と「地域における共生社会の実現」などを目的としたイベントで、今回はあいにくの天候により屋内のみでの実施となりましたが、現役の学生アスリートらによる直接指導やアドバイスが受けられる「スポーツ教室・体験会」や昔あそびで交流する企画「プレーパーク」のプログラムが用意されました。この他、近隣の喜多見児童館によるコーナー、医療健康科学研究所・放射線同窓会による骨密度測定なども行われました。

スポーツ教室・体験会を実施したのは、合気道部、サッカー部、自転車部、少林寺拳法部、相撲部、体操競技部、卓球部、競技ダンス部、ボクシング部、チアリーディング部BLUE JAYSの計10団体です。



3 すべての人に
健康と福祉を



あらゆる年齢のすべての人々の
健康的な生活を確保し、福祉を促進する

SDG:3を取り扱った授業

3 すべての人に
健康と福祉を



全学共通科目	「生涯スポーツ実習」
担当教員	末次 美樹（総合教育研究部 スポーツ・健康科学部門）
概要	生涯における健康について見直そう
ストレッチの授業では、自分自身と向き合い、自身の現状について把握することを目的とした。また、自宅でもできる簡単な運動やストレッチの知識を活かし、生涯にわたる運動習慣を身につけることを目的とした。	

3 すべての人に
健康と福祉を



全学共通科目	「健康スポーツ論1」
担当教員	末次 美樹（総合教育研究部 スポーツ・健康科学部門）
概要	性のしくみ
「健康的に生きる」ことについて、心身の健康のみではなく、性の知識を身につけ、将来の家族計画や自身やパートナーの人生を守ることを「健康」と捉え、授業を展開した。	





すべての人に包摂的かつ公正な
質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

アメリカ・ルター大学との交流授業を開催

1月12日（木）、仏教学部の石井 清純 教授が、アメリカ・ルター大学（Luther College）の来日プログラム（Luther in Japan）の参加学生と本学大学院生との交流授業を開催しました。

石井教授より「道元禅師の思想と曹洞宗の教え」について講演が行われたのち、修士の学生とともに禅文化歴史博物館の見学、坐禅堂での坐禅体験を行いました。

また、学生食堂にて学食をお楽しみいただき、学生間での国際交流を深めました。





すべての人に包摂的かつ公正な
質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

経済学部の長山宗広ゼミが 参加型オンラインスクール「こどハピ」でオンライン授業を実施

経済学部の長山宗広ゼミの2年生が、12月3日（土）、18日（日）に株式会社シンシアージュ（代表取締役 久木田 敬志 氏）が運営する参加型オンラインスクール「こどハピ」にてオンライン授業を実施しました。

株式会社シンシアージュと長山ゼミは2022年度の新規開講科目「アントレプレナーシップ養成講座」で連携しました。「こどハピ」とは「子ども達が自らの才能に気づける場所」をコンセプトに掲げた参加型オンラインスクールです。サイエンス・地域文化講座・職業体験・モノ作り教室など学校では教えないジャンルをそれぞれの専門家がわかりやすく教えます。子どもたちは多くの授業に無料で参加できます。また、オンライン授業のため全国どこからでも参加が可能です。

ゼミ生は以下の2回の授業を「こどハピ」にて企画実施しました。

【第1回】－禅文化歴史博物館からLIVE中継－

『小学生でも楽しく学べる「仏教のひみつ」』

日時：12月3日（土）10：00～11：00

禅文化歴史博物館からLIVE中継し、学芸員の解説付きで「仏教って何？」「いつ始まったの？」について授業を行いました。

【第2回】－お坊さんが生出演！－

日時：12月18日（土）10：00～11：00

坐禅堂からLIVE中継し、「お坊さんのお仕事ってどういうもの！？坐禅体験！」について授業を行いました。仏教学部の石井 清純 教授と本学参禅部の協力を得て「イス坐禅」をオンライン参加の小学生に体験してもらう授業になりました。



4 質の高い教育を
みんなに



すべての人に包摂的かつ公正な
質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

生涯学習について（禅文化歴史博物館）

駒澤大学禅文化歴史博物館は、本学の特色を活かした禅（仏教・宗教）の文化、歴史を中心とする博物館とし、一般公開することにより、地域社会のみならず、広く世界へ向けて大学の情報を発信する基地としての役割を担っています。

- (2022.4/4~4/7) 春季特別公開 「正法眼蔵嗣書」
- (2022.4/18~7/29) 大学史特集展24 駒大相撲部のあしあと
- (2022.5/9~12/22) 開校140周年特別公開「駒澤大学貴重図書」－駒澤大学図書館のあゆみ－
- (2022.6/1~12/22) 開校140周年記念特別展示「曹洞宗両大本山永平寺・總持寺貫首の墨蹟」
- (2022.6/1) 開館20周年記念法要
- (2022.6/6・7) 開館20周年記念音楽会
- (2022.6/24) 禅文化歴史博物館館長コラボトーク 第1回：文学部 歴史学科 大城 道則
- (2022.10/8~22) 第41回禅博セミナー「大学図書館の歴史と建築」
- (2022.10/15~2023.3/24) 大学史特集展25 駒大140年のあゆみ 一初公開！設置認可書一
- (2022.11/4) 開校140周年記念「ミステリーバスツアー2022」
- (2022.11/5~19) 秋季特別公開 道元禅師真筆『正法眼蔵嗣書』
- (2022.11/28~12/17) 第16回博物館学講座企画展 ひろがるお茶－日本における喫茶文化の展開－
- (2022.12/5~17) 特別公開「出山釈迦図」
- (2022.12/8) 第36回禅博実践セミナー「臘八坐禅」
- (2023.1/21) 第42回禅博セミナー「『正法眼蔵嗣書』について」
- (2023.1/16~7/31) 開校140周年記念特別展示「『正法眼蔵嗣書』の成立～修訂本と草案本」

**駒澤大学開校140周年記念
ミステリーバスツアー 2022**
学生限定

明治15(1882)年に開校した本学は本年で開校140周年を迎えます。この記念の年に駒澤大学の遺産となった場所を巡るバスツアーを企画いたします。移動中にも、本学所縁の地を案内しつつ、駒澤大学の魅力をたっぷりお楽しみください。

【開催概要】
日時 令和4年 **11月4日(金)** どこに行くかは書いてからのお楽しみです
集合時間 午前9時
集合場所 新図書館前
募集人数 25名(定員になり次第受付終了)
参加費 学生 1,000円
(昼食付) ※申込時に書納入下さい
コース 駒澤大学 集合・発 午前9時
※行き先は書いてからのお楽しみ☆
《見学》3カ所《車窓》2カ所
駒澤大学 着・解散 午後4時30分

【申し込み先】
駒澤大学禅文化歴史博物館
事務室 03(3418)9610
開校期間内に2階事務室へ
参加費持参の上お越しください
※申込締切 **10月21日(金)**



開校140周年記念「ミステリーバスツアー2022」



11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任



すべての人に包摂的かつ公正な
質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

生涯学習について（公開講座）

駒澤大学では、大学における研究と教育の成果を広く社会に還元し、教養と文化の向上に寄与することを目的として、公開講座を開講しています。

前期公開講座 ※オンデマンド配信講座

4月講座【宋代の禅宗】

講師：小川 隆（総合教育研究部 外国語第二部門 教授）

5月講座【革命の女たち—政治小説に描かれた女性像—】

講師：倉田 容子（文学部 国文学科 教授）

6月講座【律の世界】

講師：八尾 史（仏教学部 講師）

古山 健一（曹洞宗総合研究センター 常任研究員）

7月講座【グローバル・イシューズ 人新世・惑星限界・SDGsと地球の未来】

講師：芝崎 厚士（グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授）

後期公開講座 ※オンデマンド配信講座

10月講座【禅の歴史の諸相】

講師：大澤 邦由（仏教学部 准教授）

舘 隆志（仏教学部 講師）

11月講座【権力者たちの視点から見る世界遺産】

講師：大城 道則（文学部 歴史学科 教授）

角道 亮介（文学部 歴史学科 准教授）

佐々木 真（文学部 歴史学科 教授）

飯田 洋介（文学部 歴史学科 教授）

12月講座【空海『三教指帰』執筆の真意】

講師：藤井 淳（仏教学部 教授）

1月講座【コロナ禍のスウェーデンからみえてくる日本の課題】

講師：姉齒 暁（経済学部 商学科 教授）

特別無料講座 ※オンデマンド配信講座

4月講座【禅の基本思想と世界への展開】

講座1 「禅の基本思想と道元禅の特徴」
講師：角田 泰隆（仏教学部 教授）

講座2 「欧米に広がる日本の禅」
講師：石井 清純（仏教学部 教授）

8月講座【夏休み子どもアカデミー2022】

※東京都子どもスマイルムーブメント「子どもスマイル大冒険」事業

講座1 「お盆って、なあに？」
講師：徳野 崇行（仏教学部 准教授）

講座2 「東京湾の海苔ものがたり」
講師：菅野 洋介（文学部 歴史学科 准教授）

講座3 「初恋の味ってどんな味？」
講師：小野瀬 拓（経営学部 市場戦略学科 教授）

講座4 「磁石のチカラは、こんなにすごい！」
講師：村田 渉（医療健康科学部 助教）

9月講座【駒澤大学 開校140年によせて】

講座1 「禅語と禅僧 一雲門文偃の場合」
講師：永井 政之（駒澤大学 総長）

講座2 「駒澤大学140年のあゆみ
—図書館を中心として—」
講師：奥野 光賢（仏教学部 教授）

2月講座【社会と文化の今日的課題】

講座1 「少子高齢化と空き家問題」
講師：金子 昇平（駒澤大学 名誉教授）

講座2 「増加する在日外国人～社会統合試論～」
講師：白水 繁彦（駒澤大学 名誉教授）

駒澤大学 公開講座
夏休み 子どもアカデミー 2022
(オンデマンド配信：受講料無料)

駒澤大学では、小学生に向けた受講料無料のプログラム「夏休み子どもアカデミー2022」をオンデマンド配信で開講します。ネット環境があれば、全国各府県から好きなときに視聴できます。

お申込み1回で期間中、4つの講座を何度でも視聴できます。申込者には「学習シート」をお送りします。この夏の自由研究として受講してみませんか！

講座1：お盆って、なあに？ (仏教学部 仏教学科 徳野 崇行 先生)	
講座2：東京湾の海苔ものがたり (文学部 歴史学科 菅野 洋介 先生)	
講座3：初恋の味ってどんな味？ (経営学部 市場戦略学科 小野瀬 拓 先生)	
講座4：磁石のチカラは、こんなにすごい！ (医療健康科学部 村田 渉 先生)	

配信期間：8/1(月)～8/31(水)
受講料：無料 ※ただし申込が必要です。
定員：800名 (各プログラムは小学生向けですが、どなたでも受講できます。)

申込方法：駒澤大学ホームページの「EVENT(イベント)」から申込フォームに申し込み手続きください。下部のQRコードからもお申し込みできます。
後日、登録されたメールアドレスに視聴パスワードをお送りします。

申込締切：8/21(日)
配信初回から視聴するには7/28(木)までにお申し込みください。

お問い合わせ先：駒澤大学 学務委員会 公開講座担当
電話：03-3702-9623 FAX：03-3702-9626
受付：10時～18時 ※12時30分～12時50分休む
8/13～8/21までは休校しております。



4 質の高い教育を
みんなに



すべての人に包摂的かつ公正な
質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

SDG:4を取り扱った授業

4 質の高い教育を
みんなに



Check! P.16

大学院科目	「宗学特講Ⅲ(院修士・演習)」
担当教員	石井 清純 (仏教学部 禅学科)
概要	日本文化・思想の紹介と国際交流
<p>「道元禅師の思想と曹洞宗の教え」と題した講演を実施。また、博物館及び坐禅体験によって、本学の建学の理念に基づいた日本の思想と実践を体験してもらった。本学の院生も参加し、学術交流ともなっている。</p>	

4 質の高い教育を
みんなに



専門教育科目	「演習Ⅱ」
担当教員	松田 健 (経済学部 現代応用経済学科)
概要	<p>演習Ⅱで行う研究の主題でしたので「回」ではなくて半年間かけて、研究課題として取り扱いました。内容は、障がいをもつ児童・生徒と共同で、フラワーロスを活用したアクティブラーニングを実施することで、将来「就職」という選択肢を持ってもらうことを目的とし、アクティブラーニングの手法を通じて、マーケティング・ミックスの理論を体系的に学ぶ機会を提供することです。</p>
<p>このプランは環境問題と社会問題の掛け合わせにより、諸問題に対する新たなアプローチを提案するもの。現在日本では、国からの支援などにより障がい者の就職率は増加傾向にある。しかし、その支援は受入企業に対するものであり、就職を希望する障がい者に対する「職業意識」や「興味」と言う面でサポートがないのが現状である。この状況を変えるには早い段階で社会に触れ、成功体験を通して職業意識を養うことが重要だと考えたことが根底にある。</p>	

4 質の高い教育を
みんなに



全学共通科目	「子どもと文化発展（２）」
担当教員	内藤 寿子 (総合教育研究部 日本文化部門)
概要	多文化共生について、絵本を題材に考える。
<p>点訳絵本、アイヌ文化に関わる絵本、アメリカの公民権運動に関わる絵本、在日外国人の子どものための絵本、ジェンダー平等に関わる絵本などを通して、日本社会の現状や歴史について考察を行なった。</p>	

4 質の高い教育を
みんなに



すべての人に包摂的かつ公正な
質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

SDG:4を取り扱った授業

4 質の高い教育を
みんなに



全学共通科目	「教養実践演習（総合）」
担当教員	内藤 寿子（総合教育研究部 日本文化部門）
概要	現代日本社会における子ども人権について考える。
<p>子どもの貧困や在日外国人の子どもが置かれている状況などについて、グループワークやディスカッションを行なった。</p>	

SDG:4を取り扱った研究

4 質の高い教育を
みんなに



教員	内藤 寿子（総合教育研究部 日本文化部門）
研究テーマ	地域における在日外国人の子どもへの教育支援活動
日本社会における教育機会の平等などを実現するための実践活動	

SDG:4に関する教員の活動

4 質の高い教育を
みんなに



教員	近衛 典子（文学部 国文学科）
<p>出張模擬講義の講師 模擬講義のため関東地方の高校を訪問、江戸時代の著名な俳人、芭蕉・蕪村・一茶がその地を訪れ執筆した作品を紹介、地域の文化を再発見する喜びや、その蓄積を知る重要性について話した。</p>	
<p>地方での文学調査 芭蕉の足跡を辿って全国の俳人と交流、芭蕉の位牌も祀っていた常陸国の俳人に関する調査を行った。ご子孫からその家に残る資料と伝承についてお話を伺い、その文学的意義を伝えた。</p>	

5 ジェンダー平等を
実現しよう



ジェンダー平等を達成し、
すべての女性及び女兒のエンパワーメントを行う

ダイバーシティ推進プロジェクトチームを設置

駒澤大学では「ダイバーシティの尊重による個を活かす大学」の具体化および実現を図るため、松信 ひろみ 学長補佐（ダイバーシティ推進担当）を座長として、ダイバーシティ推進プロジェクトチームを設置しました。このプロジェクトチームは、2022年度に策定した「駒澤大学ダイバーシティ推進に関する基本方針」及び「ダイバーシティ推進に係る中期的な施策案」に則り、学生・教職員の意識啓発を目的とした事業や学内外への情報発信等を行うことを目的としています。

今年度は、主なダイバーシティ推進事業として2回の学内研修会を開催しました。

第1回研修会では、「学生・教職員の多様性を尊重する『個』を活かした柔軟な大学の実現」を目指し、ダイバーシティの推進に向けて、「ダイバーシティとは何か」、「大学におけるダイバーシティ推進の必要性」、そして、ダイバーシティ推進の中心的テーマに位置づけられる男女共同参画とセクシュアル・マイノリティの理解と課題について、ダイバーシティ推進担当学長補佐で、文学部社会学科の松信 ひろみ 教授に、講演いただきました。

第2回研修会では、①学生へのアンケート調査からLGBT等の比率とその学生生活について、また学生のLGBT等への意思についての調査報告を行い、②LGBT等の学生から寄せられた相談事例をもとに、個人内の葛藤と制度上の課題について、経済学部 現代応用経済学科の村松 幹二 教授、そして学生支援センター 学生相談室の渡邊 浩司カウンセラーに、講演いただきました。

【第1回】「大学におけるダイバーシティ推進の必要性とその理解」

日時：7月7日（木）16：20～17：50 ※オンライン開催

講師：松信 ひろみ（ダイバーシティ推進担当学長補佐、文学部 社会学科 教授）

【第2回】「大学生の性的多様性を考える」

日時：11月16日（水）16：20～17：50 ※オンライン開催

講師：村松 幹二（経済学部 現代応用経済学科 教授）

渡邊 浩司（学生支援センター 学生相談室 カウンセラー）





ジェンダー平等を達成し、
すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う

NHKよるドラ「恋せぬふたり」トークイベント（第2弾）を開催

本学は、学生、教職員のダイバーシティ（多様性）を尊重する「個」を活かした柔軟な大学の実現を目指し、各種関連事業に取り組んでいます。

5月12日（木）には、本学のダイバーシティ推進事業の一環として、2022年1月から3月にかけてNHKで放映された、よるドラ「恋せぬふたり」のトークイベント（第2弾）を開催しました。

ドラマでは、「アロマンティック・アセクシュアル（*）」の男女が、互いに「家族（仮）」と呼ぶ同居生活を始め、両親、上司、元カレ、ご近所さんたちといった周囲の人たちの反応に戸惑いながらも、恋愛感情抜きで男女として歩む姿が描かれました。

2022年2月12日（土）に開催したトークイベント（第1弾）に引き続き、テーマは「多様なセクシュアリティと家族のあり方～まとめ編」。脚本を手がけた吉田 恵里香 さん、アロマンティック・アセクシュアル考証を担当した中村 健 さん、企画・演出の押田 友太 さんをパネリストとしてお招きのうえ、本学文学部の松信 ひろみ 教授（ダイバーシティ推進担当学長補佐）が司会進行役となり、イベントが行われました。

イベントには本学の学生24人が参加し、ドラマの後半部分（第5回～最終回）、そしてドラマ全体を通しての感想や感じた疑問等をパネリストに投げかけながら、参加者全員で議論を深めました。「多様性」、「家族」といったキーワードをきっかけとして繰り広げられた本イベントは、今回のテーマの枠を越えて、これからの生き方についてまで話が及び、参加学生には、今後の自身の人生を考えるきっかけにもなる、非常に有意義な時間となりました。

*アロマンティック・アセクシュアル：

"アロマンティック"とは、恋愛志向の一つで他者に恋愛感情を抱かないこと。

"アセクシュアル"とは、性的指向の一つで他者に性的にひかれられないこと。

どちらの面でも他者にひかれられない人を、「アロマンティック・アセクシュアル」と呼ぶ。



5 ジェンダー平等を
実現しよう



ジェンダー平等を達成し、
すべての女性及び女性のエンパワーメントを行う

文学部社会科学の松信ひろみゼミが 「東京レインボープライド2022」にボランティアとして参加

文学部社会科学の松信ひろみゼミが、4月22日（金）～4月24日（日）に代々木公園イベント広場で開催された「東京レインボープライド2022」のプライドフェスティバルにボランティアとして参加しました。

本イベントはセクシュアル・マイノリティの方の権利主張の祭典で、コロナ禍のため対面でのイベントが中止となっていました。今年、2年ぶりにオンラインイベントも実施され、松信ゼミの2年生から4年生の有志がボランティアとして参加しました。

ゼミ生は、総合受付、会場、物販、パレード隊列などの部門でお手伝いしました。最終日の4月24日（日）は雨の中パレードも実施され、約2000人の方々が渋谷周辺をセクシュアル・マイノリティの権利を訴えて歩きました。



5 ジェンダー平等を実現しよう



ジェンダー平等を達成し、
すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う

SDG:5を取り扱った授業

5 ジェンダー平等を実現しよう



専門教育科目	「アメリカ文学演習V」
担当教員	川崎 浩太郎 (文学部 英米文学科)
概要	アメリカ文学におけるジェンダー

5 ジェンダー平等を実現しよう



専門教育科目	「ジェンダー・セクシュアリティ論」
担当教員	松信 ひろみ (文学部 社会学科 社会学専攻)
概要	女性に対する暴力、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス&ライツ

5 ジェンダー平等を実現しよう



専門教育科目	「障害者・障害児心理学」
担当教員	鈴木 菜実子 (文学部 心理学科)
概要	ジェンダーに関わる心の問題
<p>精神障がいにかつて、性的志向やジェンダーの違和が含まれていたことや、ジェンダーマイノリティが体験する精神的な困難を講義した。</p>	

5 ジェンダー平等を実現しよう



専門教育科目	「演習II」
担当教員	村松 幹二 (経済学部 現代応用経済学科)
概要	「駒澤大学生の学生生活に関する調査」でLGBTに関する調査を行った。
<p>アンケート調査により、駒澤大学生に占めるLGBT等の比率を割り出すとともに、LGBT等の認知度、意識、大学としての対応のあり方についても調査を行った。今後、演習全員で分析し、報告書にまとめるとともに、大学に提言を行う予定である。</p>	

Check! P.23

5 ジェンダー平等を実現しよう



専門教育科目	「憲法」
担当教員	三宅 雄彦 (法学部 法律学科)
概要	婚姻の自由・婚姻制度
<p>日本国憲法24条に関連して、嫡出子相続差別、夫婦同氏制、性同一性障害、同性婚についての最高裁判所の判例などに検討を加えた。</p>	

5 ジェンダー平等を実現しよう



ジェンダー平等を達成し、
すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う

SDG:5を取り扱った授業

5 ジェンダー平等を実現しよう



専門教育科目	「比較憲法」
担当教員	三宅 雄彦 (法学部 法律学科)
概要	婚姻制度
<p>日本国憲法24条及びドイツ基本法6条に関連して、非嫡出子相続差別、夫婦同氏制、性同一性障害、同性婚、同性パートナーシップ制度などについての、日本の最高裁判所及びドイツの連邦憲法裁判所の各種判決を検討した。</p>	

5 ジェンダー平等を実現しよう



専門教育科目	「専門演習（憲法）」
担当教員	三宅 雄彦 (法学部 法律学科)
概要	婚姻制度に関する最高裁判所判例の検討
<p>非嫡出子相続差別、夫婦同氏制、性同一性障害、同性婚について最高裁判所及び下級裁判所の諸判決を輪読しつつ、これに検討を加えた。</p>	

5 ジェンダー平等を実現しよう



専門教育科目	「経営労務論」
担当教員	鹿嶋 秀晃 (経営学部 経営学科)
概要	男女賃金格差問題

5 ジェンダー平等を実現しよう



専門教育科目	「演習Ⅰ」
担当教員	鹿嶋 秀晃 (経営学部 経営学科)
概要	男性の育休取得

5 ジェンダー平等を実現しよう



専門教育科目	「演習Ⅲ」
担当教員	鹿嶋 秀晃 (経営学部 経営学科)
概要	アンコンシャスバイアス

5 ジェンダー平等を
実現しよう



ジェンダー平等を達成し、
すべての女性及び女性のエンパワメントを行う

SDG:5を取り扱った授業

5 ジェンダー平等を
実現しよう



専門教育科目	「消費者行動論」
担当教員	菅野 佐織 (経営学部 市場戦略学科)
概要	ジェンダーと消費者行動
マーケティング分野におけるジェンダー意識を持った人材の育成が必須であるため。	

5 ジェンダー平等を
実現しよう



専門教育科目	「現代マネジメントX」
担当教員	菅野 佐織 (経営学部 市場戦略学科)
概要	小説を読み解きながら、そこで描かれているジェンダー・バイアスの問題、女性・男性の生きづらさ、働きがいや生きがいについてのディスカッションを行った。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



全学共通科目	「応用倫理学（2）」
担当教員	滝沢 正之 (総合教育研究部 文化学部)
概要	環境倫理学 (地球有限主義、自然の権利、世代間倫理)、食物倫理学、肉食をめぐる倫理的問題、フェミニズムの歴史

5 ジェンダー平等を
実現しよう



全学共通科目	「英語で学ぶ教養（言語V、VI）」
担当教員	三木 望 (総合教育研究部 外国語第一部門)
概要	Language and gender. Intercultural CommunicationのPerception
言葉に関するジェンダーの問題の理解とSexist languageの最近の問題。文化で異なる見た目の価値観と異文化コミュニケーション (アジアの美白への憧れと西欧の日焼けに対する価値観の違いなど)	

5 ジェンダー平等を
実現しよう



ジェンダー平等を達成し、
すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う

SDG:5を取り扱った研究

5 ジェンダー平等を
実現しよう



教 員	村上 明也 (仏教学部 仏教学科)
研究テーマ	仏性と女性
<p>中国仏教とジェンダー平等について—仏典を生きる女性たち— 従来、露骨な女性差別の根拠になるとして問題視されてきた『涅槃経』如来性品の経文が、唐代の華嚴諸師、つまりは賢首大師法蔵 (643-712)、静法寺慧苑 (673?-743?)、清涼澄観 (738-839) においては必ずしも女性差別的な文言として受け止められていなかったことを指摘した。仏教が中国へと伝播し、大乘経典を矛盾のない範囲で受け容れていく過程で、『涅槃経』の経文に対して—あくまでも現代的な視点ではあるが—融和的な解釈がなされたことは、梵・蔵・漢などの原典を中心に議論がなされてきた、これまでの研究成果にほんの僅かながら注意を喚起することが出来るであろう。</p>	

5 ジェンダー平等を
実現しよう



教 員	林 明人 (総合教育研究部 外国語第一部門)
研究テーマ	性的マイノリティー作品を扱った。
差別、無理解をなくす。	

5 ジェンダー平等を
実現しよう



教 員	藤田 真樹 (法曹養成研究科)
研究テーマ	取締役等役員構成の多様化に向けた法的課題 (科研・基盤研究 (C)代表)
<p>米国の過小評価グループの割当制度 近年、米国においても、カリフォルニア州を中心として、州に本店を置く上場企業に対し、女性を中心とする過小評価グループから一定数の取締役の選任を義務付ける州会社法の改正が見られる。他方、Nasdaqは規則を改正し、情報開示を通じて企業役員を多様化する取組がある。さらに、連邦証券取引所についても企業役員の多様化を促進するため、1934年連邦証券取引所を改正し、連邦証券取引所に多様性諮問委員会を設置し、情報開示を通じて多様化を促進する取組が見られる。以上のような米国の近年の企業役員の多様化へ向けた取組みは、国連責任投資原則 (PRI) を受けて受託者責任の範囲内で、ESGを反映させようとする国境を越える機関投資家や議決権行使助言会社のアクティビズムの影響を受けたものである。また本研究は、#MeToo運動やBlackLivesMatter、国連のSDGsとも密接に関連したものである。本研究は、日米の比較のうちに、女性を中心とする過小評価グループの取締役等役員登用へ向けた取組みについて法的・経済学的な見地から検討し、わが国の政策に対する提言をすることを目的とする。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>4 質の高い教育を みんなに</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>8 働きがいも 経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>10 人や国の不平等を なくそう</p> </div> </div>	

6 安全な水とトイレ
を世界中に



すべての人々の水と衛生の利用可能性と
持続可能な管理を確保する

だれにとっても使いやすいトイレ

駒澤大学では、車いすで利用できるトイレやオストメイト用設備を有するトイレを複数設置しています。

2022年3月には、駒澤キャンパスの「バリアフリートイレマップ」を作成し、大学ホームページで公開しました。

駒澤キャンパスのバリアフリートイレマップ

北門の通行可能時間について
8:00~14:00(入庫のみ)
14:00~19:00(送庫のみ)

---AED ---授乳室
---多目的トイレ ---オストメイト対応トイレ
駒澤大学-VARIAN放射線治療人材教育センター
---種月館(2階・地下1階)
※4号館と禅研究館を除き、各施設にはエレベーターを設置いたします。

設置場所	階	設備
記念講堂	2階	多目的トイレ
種月館(3号館)	1階	多目的トイレ(女子トイレ個室内)
	2階・4階	多目的トイレ・女子トイレ個室内
	5階~9階	多目的トイレ(女子トイレ個室内)
緑の丘(3号館)	1階	多目的トイレ(女子トイレ個室内)
4号館	1階	多目的トイレ
7号館	1階	多目的トイレ
8号館	1階	多目的トイレ
第1研究館	2階	多目的トイレ
第2研究館	1階	多目的トイレ
禅研究館	1階	多目的トイレ(女子トイレ個室内)
禅文化歴史博物館(耕雲館)	1階	多目的トイレ
図書館	1階	多目的トイレ

(2022年11月現在)

車いす対応トイレ



オストメイト



授乳室



着替え台 (フィッティングボード)



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

駒澤大学は「せたがや版RE100」の取り組みに賛同しています

駒澤大学は、世田谷区が進める、区民・事業者・区の三者が連携して区内全体で再生可能エネルギーを利用拡大していく「せたがや版RE100」の取り組みに賛同し、令和4年2月に賛同登録申請をしました。

本学では、SDGsに基づく取り組みを行っており、国土交通省の2014年度（第2回）住宅・建築物省CO₂先導事業として採択された「種月館（3号館）」では、太陽光発電や自然換気窓、自然光の取入れを行っています。1階には専用モニターを設置し、その日の発電電力や、CO₂削減量などを表示しています。

今後も持続可能な社会のために再生可能エネルギーの利用を拡大していきます。



「RE100（アールイー100）」とは、地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの削減のため、企業が事業運営で消費する電力を100%再生可能エネルギーでまかなうことを目標に掲げる取り組みです。「Renewable Energy 100%」の頭文字を取り、RE100と呼ばれており、国際的な取り組みとして注目を集めています。





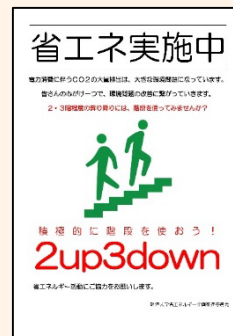
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

本学の省エネルギー対策について

駒澤大学では、省エネルギー企画推進委員会において、年間の省エネルギー対策の取り組みを策定しています。1年を通して省エネ対策を継続的に実施し、個々人の意識的な参加が必要な取り組みについて、教職員・学生に周知しています。

年間を通して実施する省エネルギー対策

1	照明の運用	使用していない教場・会議室・研究室は、必ず消灯する。
2	パソコンの電源管理	会議や授業等により長時間離席する際はスリープモードに設定する。 帰宅時は、パソコンとモニターの電源を切る。
3	待機電力の節電	パソコン・モニター・プリンター・電話機子機・デジタルカメラ充電など待機電力を必要とする機器は、長期休暇期間に入る前に必ず電源を切る。
4	A V教場ディスプレイの節電	使用していないときは必ず電源を切る。 固定表示を映し続けないようにする。
5	電気容量の多い電化製品の使用禁止 (部室も含む)	電子レンジ・電気ポット等の電気容量の多い電化製品の使用は、『研究館使用要領』に基づき禁止とする。
6	ノー残業デーの活用	周囲へ呼び掛け、ノー残業デーの実施に積極的に取り組む。
7	階段利用の推奨	エレベーター使用に際して、「2 up 3 down」に継続的に取り組む。
8	節電・節水の取り組み	ポスターを掲示し、節電・節水に積極的に取り組む。



2022年度 今夏の省エネルギー対策について

1	教場利用の集約	エネルギー効率の良い3号館に教場利用を集約する。サークル等に貸し出す際はフロアごとに集約するなど、建物使用部分の制限・集約を進める。
2	空調の設定	すべてのキャンパスにおいて冷房温度を原則として26℃設定とする。外気温26℃以上のとき、冷房運転をし、室内温度は26℃設定とする。 (第1・第2研究館各研究室も空調温度を26℃設定とする) また、空調フィルターの定期的な清掃を実施する。 運転時間：8時30分～21時10分 (事務室系統は18時まで) (夏季休業中は8時45分～17時)
3	トイレの節電	温水洗浄便座の暖房便座と温水洗浄(冷水は可)機能を停止する。 (便座1台あたり1回@1.3kw)
4	エレベーターの利用制限	大学会館246・深沢校舎・第2研究館・法科大学院は、2台中1台、3号館は7号館側1台を停止する。 ※エレベーターが1台のみの建物では停止をしない。 (エレベーター1台1hあたり10分使用@6.5kw)
5	3号館 エスカレーターの停止	夏期休業中は5階以上の稼働を停止する。 (教場利用があれば、利用階までは運転する) (エスカレーター1台1hあたり10分使用@40.0kw～53.3kw)
6	クールビズの実施	空調温度26℃設定維持を目指し、積極的にクールビズに取り組む。
7	全学休業中の 出勤・出講	全学休業期間中(8月15日～19日)は、設備点検による停電・断水等もあり、出勤・出講をできる限り控える。
8	広報活動	省エネルギー企画推進委員会で内容を検討し、省エネルギー推進担当者へ伝達・啓発し、ホームページ等での公表やKONECOを通じて学生へ周知し協力を求める。

【今夏の省エネルギー対策】※令和3年度の取組みを継承

目的：「数値目標を伴わない省エネ」に取り組む
期間：7月1日～9月30日の平日
時間：9時～20時



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに





すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

SDG:7を取り扱った授業



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



専門教育科目	「技術とメディア」
担当教員	青柳 西蔵 (グローバル・メディア・スタディーズ学部)
概要	火力発電及び原子力発電のメリット・デメリットやメディアでの取り扱いについて議論した。
 	

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに




専門教育科目	「アメリカ文学特講V」 「英語ⅠA、英語ⅡA ※全学共通科目」
担当教員	林 明人 (総合教育研究部 外国語第一部門)
概要	環境保全
クラスで配布する資料を、紙媒体ではなく、メールで行った。	
 	

SDG:7に関する教員の活動

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



教員	李 妍焱 (文学部 社会学科 社会学専攻)
<p>一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト理事 民間の小さな助成団体であり、「公正で持続可能な社会づくりをエンパワーする」を活動指針に掲げ、市民やNPO・NGOによる問題解決のためのアクションを応援している。環境破壊の激化と人権侵害や貧困など格差の広がりが加速する今日、だれもが安心して暮らせる世界の実現を目指し、「エネルギーシフト」、「ネオニコチノイド系農薬問題」、「東アジア環境交流」の3部門を中心に助成事業と啓発事業を展開している。</p>	
	



包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する

キャリアセンターが「給与明細から考える働き方講座」を開催

12月8日（木）、キャリアセンターが在学生に向けて「給与明細から考える働き方講座～学校でも会社でも教えてくれない労務の基礎知識～」を実施しました。

日本では数少ないユニコーン企業である株式会社SmartHRよりご協力を賜り、ご講演いただきました。

主に時間外手当や社会保険項目についてご解説いただきながら、給与の仕組みを分かりやすく紐解いていただきました。



学校法人駒澤大学フェローによる講演会について

学校法人駒澤大学では、フェローシップ制度を設け、2022年10月に元財務省関東財務局長の古谷 雅彦 氏をフェローとして招きました。

今後も、広く一般の方に高い教養の学びの場を提供するため、教育・学術等に関わる講演や広報活動を行い、本法人の社会貢献に努めます。

**【第1回】 「日本経済のいま
～物価高・円安・景気後退の可能性～」**
 日時：2022年11月5日（土）
 13：00～14：30
 開場：深沢キャンパスアカデミーホール

【第2回】 「2023年資産形成～貯蓄も投資も～」
 日時：2023年2月18日（土）
 13：00～14：30
 開場：深沢キャンパスアカデミーホール



8 働きがいも
経済成長も



包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する

「世田谷プラットフォーム」事業「ビジネスキャリアデザイン講座II」

本学が参画する「世田谷プラットフォーム」の事業として開講する「ビジネスキャリアデザイン講座II」に、経済学部 商学科の代田 純 教授と、経営学部 経営学科の猿山 義広 教授が講座を提供しました。

「ビジネスキャリアデザイン講座」とは、世田谷区内の6大学（国士舘大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、東京都市大学、東京農業大学）と、世田谷区が協働・連携している「世田谷プラットフォーム事業」の1つとして2021年度より開講している若手ビジネスパーソン向けの無料オンデマンド講座です。社会人や学生を対象としたリカレント教育や学び直し、新たな知識やスキル習得の機会を提供・醸成することを目的としています。

世田谷プラットフォーム事業 社会人5年目……対象
ビジネスキャリアデザイン講座②
「デジタル化する
金融」

駒澤大学経済学部教授
代田 純

SETAGAYA Platform. All Rights Reserved.

「デジタル化する金融」
講師：代田 純（経済学部 商学科 教授）

世田谷プラットフォーム事業 社会人5年目……対象
ビジネスキャリアデザイン講座②
「有価証券報告書は企業の成績表2」

駒澤大学経営学部 教授 猿山 義広

SETAGAYA Platform. All Rights Reserved.

「有価証券報告書は企業の成績表」
講師：猿山 義広（経営学部 経営学科 教授）



学内研修「meetup! Presentation & Pitch」の開催について

駒澤大学では、職種や部署を越えて、知識や情報、成果が上がっていること、及び課題などを学内全体で共有し業務等へ活用すべく、教職員研修の一環として、2017年度より「meetup! Presentation & Pitch」を実施しています。

【第1回】「私が国際センターにきたわけ」

日時：2022年7月22日（金）14：00～14：30（Google Meet）

発表：後藤 薫（国際センター事務室 課長）



8 働きがいも
経済成長も



包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する

SDG:8を取り扱った授業

8 働きがいも
経済成長も



専門教育科目	「現代マネジメントⅠ」
担当教員	小野瀬 拓（経営学部 市場戦略学科）
概要	5月10日に凸版印刷株式会社：代表取締役副社長執行役員の大久保伸一氏より、働きがい、ダイバーシティ、インクルージョンについてご講義いただいた。 （8「働きがいも経済成長も」の達成に相当） 7月5日に日本証券業協会：金融・証券インストラクターの山木戸啓治氏より、証券業界の状況とSDGs投資についてご講義いただいた。 （9「産業と技術革新の基盤をつくろう」とSDGs全般に相当）

SDG:8を取り扱った研究

8 働きがいも
経済成長も



教員	鹿嶋 秀晃（経営学部 経営学科）
研究テーマ	テレワークにおける働き方の自律性
多様な働き方	

8 働きがいも
経済成長も



教員	小本 恵照（経営学部 市場戦略学科）
研究テーマ	高齢者のWell-being
加齢が職務満足に与える影響を分析した。	



強靱（レジリエント）なインフラ構築、
包摂的かつ持続可能な産業化の促進及び
イノベーションの推進を図る

医療健康科学部の学生が 「2022年度放射線教材コンテスト」で最優秀賞と優秀賞を受賞

医療健康科学部の学生が「2022年度放射線教材コンテスト」にて最優秀賞と優秀賞を受賞しました。応募した2チーム（指導教員は両チームとも医療健康科学部の近藤啓介准教授と村田渉助教）は1次審査・2次審査・最終審査の結果、見事栄冠に輝きました。12月28日（水）、放射線教育発表会にて作品のプレゼンテーションと表彰式が開催されました。

本コンテストは、公益財団法人日本科学技術振興財団が主催し、小学校・中学校・高等学校の理科教育に「放射線」が導入されたことに合わせて、大学生に「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ったアクティブ・ラーニング教材や、放射線について学ぶ児童生徒の思考力・判断力・表現力等を育む教材を考えてもらうことを目的に2018年度から開催されています。

毎年、教員を目指す教育学部系や放射線を専門に扱う医学部・薬学部・工学部、診療放射線技師を育成する学部の学生が受賞しています。



（右）高橋里さん
（医療健康科学部診療放射線技術科学科2年）



（中央）蓮池美沙希さん、（右）田村美弥さん
（ともに医療健康科学部診療放射線技術科学科2年）



「偏光板でわかる！レントゲン画像の仕組み」



放射線防護学習用カードゲーム
『放射線お化けから身を守ろう！』





強靱（レジリエント）なインフラ構築、
包摂的かつ持続可能な産業化の促進及び
イノベーションの推進を図る

資料のデジタル・アーカイブ化 ZX（ゼンパク・トランスフォーメーション）推進

新型コロナウイルス感染症拡大による対面活動の制約、約70年ぶりの博物館法改正で「資料のデジタル・アーカイブ化」が博物館事業に新たに追加されることを受けて、禅文化歴史博物館では博物館資料のデジタル・アーカイブ化と公開資料の充実を進めています。

博物館内にWi-Fiを整備して、BYOD（Bring Your Own Device）による鑑賞の充実も進めています。

対面でもオンラインでも、日常的に禅博に触れてもらうことで、生活に潤いと豊かさを感じてもらえるようにしています。

・ Google Arts & Culture 公開

世界中の文化遺産をオンラインで紹介するためにGoogle社が文化施設向けに無料で提供している「Google Arts & Culture」に本学もパートナー登録をしており、禅文化歴史博物館が所蔵する資料が公開されています。

[Google Arts & Culture](https://artsandculture.google.com/partner/the-museum-of-zen-culture-and-history-komazawa-university)

（日本語）<https://artsandculture.google.com/partner/the-museum-of-zen-culture-and-history-komazawa-university>

（英語）<https://artsandculture.google.com/partner/the-museum-of-zen-culture-and-history-komazawa-university?hl=en>



・ YouTube 公開

YouTubeチャンネルを開設して、博物館資料の解説動画の公開、セミナーやイベントのライブ配信を実施しています。

[禅博チャンネル](https://www.youtube.com/禅博チャンネル)

<https://www.youtube.com/禅博チャンネル>





強靱（レジリエント）なインフラ構築、
包摂的かつ持続可能な産業化の促進及び
イノベーションの推進を図る

駒澤大学「データサイエンス・AI教育プログラム」

駒澤大学では、2022年度より、多様な価値観や知に触れる教育を大切にし、さまざまな学部・学科の専門教育までつながる「データサイエンス・AI教育プログラム」を設置しました。

- ・データやAIの特性を正しく把握し、その利点とリスクを評価し、課題解決に向けて適切なアプローチ方法を見出す能力
- ・多様な学部教育による知識や価値観をベースに、人とのつながりを大切にしたい社会を実現するためにデータやAIを活用する能力

本プログラムを通して上記2点の能力を身につけることを目指し、教養として学べる「データサイエンス・AI入門」や「プログラミング入門&初級」を初めとした、高校では数理系の科目から遠ざかってしまっていた人にも学びやすい授業を用意しています。

データサイエンス・AI教育プログラムに登録し、指定されている科目を履修すると、修了の証明として国際標準のデジタル証明書「オープンバッジ」が授与されます。学生は就職活動などに際して、取得したバッジ画像を履歴書やSNS、メール等に表示することで、これからの時代に必要なデータサイエンス・AIの基礎的な知識を有していることをアピールすることができるようになります。

現代社会では、学問分野を文系・理系と分ける意味はもうほとんどありません。みなさんも文系・理系と分けていた頭の中の垣根を取りはらって、将来につながる道を大きく広げてみませんか。




オープンバッジ
(リテラシーレベル)



オープンバッジ
(応用基礎レベル)

SDG:9を取り扱った授業



専門教育科目	「演習」
担当教員	井上 健一（法学部 法律学科）
概要	ESG投資とコーポレートガバナンス
16 平和と公正な 社会づくり	



「駒澤大学障がい学生支援方針」について

禅・仏教の精神に則って教育を行う駒澤大学では、思いやりの心と学生相互が尊敬し合うという精神を重んじます。この精神に立って、障がいに基づく一切の差別をなくし、すべての学生が平等な教育の機会を享受できる大学環境づくりを進め、差別のない平等な機会を提供するために、以下の基本方針をもって障がい学生支援を行います。

1. 障がい学生とそれを支援する学生がともに学べる環境をつくり、お互い真心を傾け、お互いを敬い、慈しみの心を持って人を大切にせる教育を目指します。
2. 本学の全構成員（教職員・学生）が意識を高め、障がい学生に対して開かれた大学を目指します。
3. 障がい学生の皆さんが主体的に充実した学生生活を送ることができ、社会に出てからも堂々と支援を要請でき、自立した生活を送ることができる力を養成します。

その支援を行うにあたり、障がい学生一人ひとりのニーズを的確に把握し、入学、学生生活、卒業、就職、生涯の生活能力までを視野に入れた総合的な支援を行うことが大切です。

支援が場当たりのものや個人的な対応にならないよう一貫性のある組織的な対応が必要となります。そこで関係者や関連部署が支援を必要とする学生の情報を共有し協力しながら対応してまいります。

駒澤大学では、障がい学生をサポートする学生スタッフ（ピアサポーター）が多数活躍しています。障がい学生支援ピアサポーターの活動は主に以下の4つです。
 ※障がい学生の在籍状況により、現在実施していない支援もあります。

ピアサポーターの活動内容

1	ノートテイク	<p>2人のピアサポーターがペアになって聴覚障がい学生とともに授業に出席し、講義内容をリアルタイムで伝える活動です。</p> <p>講義やチャイムなどすべての音情報を文字に起こすことで、障がい学生がその他の学生と同等の情報が得られるようにサポートします（＝情報保障）。</p> <p>この一連の作業を「ノートテイク」といい、活動を行うピアサポーターを「ノートテイカー」と呼びます。</p> <p>駒澤大学では主にノートパソコンを使用した「PCテイク」を行っています。支援で使用するパソコン等の機器は大学が用意します。</p>
2	映像教材の文字起こし	<p>聴覚障がい学生の履修科目で映像教材が用いられる際に、必要に応じて文字起こし原稿を作成します。</p> <p>作業はノートテイカーに依頼しており、その都度協力できる人を募っています。</p>
3	ポイントテイク	<p>視覚障がい学生・肢体不自由学生の授業に出席し、授業ノートを作成します。</p>
4	移動補助	<p>肢体不自由などの学生の学内移動補助を行います。（無償ボランティア）</p>



PCテイク体験会の様子



専用ソフト「IPtalk」を用いた
関係入力練習



10 人や国の不平等をなくそう



国内及び各国家間の不平等を是正する

SDG:10を取り扱った授業

10 人や国の不平等をなくそう



専門教育科目	「医療宗教学」「文化と宗教（2）※全学共通科目」
担当教員	木村 誠司（仏教学部 仏教学科）
概要	ソローとエマーソン
SDGsの先駆者とも言われる人物の素描	
12 つくる責任 つかう責任	

10 人や国の不平等をなくそう



専門教育科目	「3年次ゼミ」
担当教員	川崎 浩太郎（文学部 英米文学科）
概要	アメリカ文学における人種・民族

10 人や国の不平等をなくそう



全学共通科目	「スポーツ科学で学ぶ教養（歴史と社会Ⅰ）」
担当教員	末次 美樹（総合教育研究部 スポーツ・健康科学部門）
概要	スポーツの理念と現実のレトリック
<p>スポーツの概念やスポーツ世界にある理想や理念と現状の乖離について講義をした。スポーツにおけるジェンダー格差や不平等、スポーツの機会における不公平、オリンピック施設における環境破壊やドーピング問題等について講義をし、その後、学生自身も「スポーツの問題」をテーマに発表をした。</p>	



包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で
持続可能な都市及び人間居住を実現する

法学部の内海麻利ゼミと グローバル・メディア・スタディーズ学部の服部哲ゼミが 「令和4年度世田谷地域 地域交流ラボ」の中間報告を行いました

11月18日（日）、法学部の内海麻利ゼミとグローバル・メディア・スタディーズ学部の服部哲ゼミが、世田谷区上馬まちづくりセンターにて開催された「世田谷地域 地域交流ラボ」の中間報告会でこれまでの活動について発表を行いました。

今年度の5月に地域の防災をテーマとして発足した「世田谷地域 地域交流ラボ」では、大学生が地域の中で防災をテーマとした調査・研究を行い、地域住民の方を交え、学部を超えたゼミ活動が展開されています。内海ゼミ・服部ゼミの学生が中間報告を行い、地域住民の方、世田谷区職員、ゼミ担当教員を交えて質疑応答が交わされました。



深沢キャンパス「日本庭園」の一般開放

駒澤大学深沢キャンパスは2006（平成18）年に建設され、大学院の講義室や各研究室、公開講座などに利用できるホールが設置されています。キャンパス内には、昭和を代表する建築家である吉田五十八氏が設計した旧三越迎賓館（1972年完成）が現存するほか、和室を備えた日本館と、その周囲には日本庭園や茶室「而今庵」があります。

本学では、毎年春と秋に深沢キャンパス内の日本庭園を一般開放し、地域の皆様に四季折々の表情をお楽しみいただいています。

庭園開放は新型コロナウイルスの影響によりしばらく開催を見合わせておりましたが、2022年11月に感染対策を徹底し再開し、美しく紅葉する庭園をご覧いただきました。





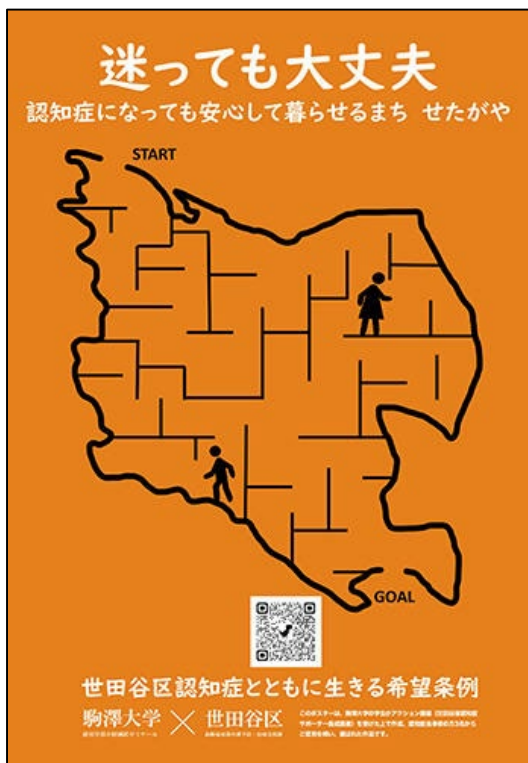
包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で
持続可能な都市及び人間居住を実現する

経営学部の小野瀬拡ゼミが世田谷区と連携し認知症観転換のための ポスターを制作しました

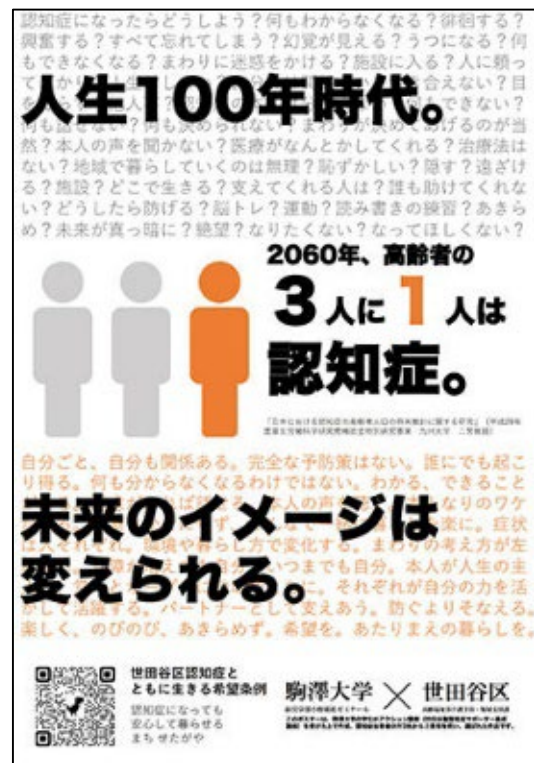
経営学部の小野瀬 拡ゼミが、世田谷区高齢福祉部介護予防・地域支援課と連携し認知症観転換のためのポスターを制作しました。

これは、世田谷区が策定した「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」が施行2周年にあたる今年、世田谷区と小野瀬ゼミが企画したものです。11月1日（火）～12月5日（月）までの期間は「学生展示企画『安心して認知症になれるまちをめざして』」と題し、駒沢キャンパス種月館（3号館）にて学生が制作したポスター19作品を展示しました。

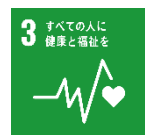
また、展示作品の中から一般の方からの投票および認知症当事者3人の方にご意見を伺い、鷲平 彩乃さん（経営学部市場戦略学科3年）の作品と工藤 彩名さん（経営学部市場戦略学科2年）の2作品が選出され、現在、世田谷区内各所に掲示されています。



鷲平 彩乃さんの作品



工藤 彩名さんの作品





包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で
持続可能な都市及び人間居住を実現する

禅文化歴史博物館が夏のこども向けイベントとして ナイトミュージアム「ぜんぱくになにかようかい？」を開催

禅文化歴史博物館が、8月6日（土）ナイトミュージアム「ぜんぱくになにかようかい？」を開催しました。

参加者は、通常開館していない夜の時間帯に館内を探検しながら、夏休みの自由研究にも活用できる「妖怪」をテーマとしたワークシートを解いて学んでいただきました。また、スタンプラリーやマイ妖怪コンテストなども実施してお楽しみいただきました。



ヒントとして展示した本学図書館貴重図書



妖怪に扮する博物館スタッフ



館内を探検しながらワークシートで学ぶ



館内の様子

禅文化歴史博物館
ナイトミュージアムを
初開催!!
ぜんぱくになにか
ようかい?
女子が
白時：2022年8月6日(土)
17:00～20:00
※事前予約制
夜の博物館に遊びに来てね
★衣装での参加もOK★
夏休みの宿題にも活用できる!
ワークシートやクイズ等を使用した
体験型イベントで楽しく学ぼう!
自分だけのマイ妖怪コンテスト開催
応募作品は後日博物館で展示!
館内・外観の写真撮影もOK!
記念にたくさん撮ってね
駒澤大学禅文化歴史博物館
〒154-8525
東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学キャンパス内
03-3418-9610
協力：駒澤大学図書館
後援：世田谷区教育委員会
SUSTAINABLE
GOALS

駒澤大学は昨年より、東京都が推進する「こどもスマイルムーブメント」に参画して社会連携・社会貢献に取り組んでいます。この夏「こどもスマイルムーブメント」では、各参画団体が行う、こどもの笑顔につなげる取組みをまとめ「こどもスマイル大冒険」として実施しました。

本学は、この取組に【ナイトミュージアム「ぜんぱくになにかようかい？」】の企画で参画し、このイベントが、東京都「こどもスマイル大賞 遊び・学び部門」を受賞し、8月28日に開催された「こどもスマイル大冒険 集大成イベント」において、小池 百合子 東京都知事より表彰されました。





包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で
持続可能な都市及び人間居住を実現する

吹奏楽部と合唱団が「合同演奏会」を開催

本学吹奏楽部と合唱団が、9月24日（土）に駒沢キャンパス記念講堂にて「合同演奏会」を開催しました。

この演奏会は、新型コロナウイルスの影響による活動の制限や演奏会の自粛など、近年落ち込んでいた文化部系の部活動を活気づけようと、今回2つの団体が手を組み企画されました。「吹奏楽」と「合唱」の合同演奏会は両団体にとって初めての試みとなります。

当日は、新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力いただき、在学生、関係者のほか地域の方にもご来場いただきました。



第1部 駒澤大学合唱団ステージ



第2部 駒澤大学吹奏楽部ステージ



第3部 合唱団・吹奏楽部合同ステージ



11 住み続けられる
まちづくりを




包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で
持続可能な都市及び人間居住を実現する

SDG:11を取り扱った授業


11 住み続けられる
まちづくりを



専門教育科目	「交通地理学A/B」
担当教員	土'谷 敏治（文学部 地理学科 地域文化研究専攻）
概要	公共交通機関を活用したまちづくり
公共交通機関の特性と地球温暖化対策	
	

11 住み続けられる
まちづくりを



専門教育科目	「地域文化演習B」
担当教員	土'谷 敏治（文学部 地理学科 地域文化研究専攻）
概要	街おこしと公共交通機関
公共交通機関や鉄道遺産を活用した街おこし	
	


11 住み続けられる
まちづくりを



専門教育科目	「地理学演習」
担当教員	土'谷 敏治（文学部 地理学科 地域文化研究専攻）
概要	交通の現状と問題点、持続可能な交通の課題

11 住み続けられる
まちづくりを



専門教育科目	「地域文化演習C」
担当教員	瀬戸 寿一（文学部 地理学科 地域文化研究専攻）
概要	情報化とまちづくりII
地域資源とオープンデータを活用した観光・産業・まちづくりに関する調査を企画実施するもの	
	

11 住み続けられる
まちづくりを



専門教育科目	「都市地理学A/B」
担当教員	西山 弘泰（文学部 地理学科 地域文化研究専攻）
概要	持続可能な都市のあり方の一つであるコンパクトシティについて解説した。

11 住み続けられる
まちづくりを




包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で
持続可能な都市及び人間居住を実現する

SDG:11を取り扱った授業

11 住み続けられる
まちづくりを



専門教育科目	「考古学発掘実習Ⅰ、Ⅱ」
担当教員	藤野 一之（文学部 歴史学科 考古学専攻）
概要	埋蔵文化財の調査
	

11 住み続けられる
まちづくりを




専門教育科目	「コミュニティ・ネットワーキング論」
担当教員	李 妍焱（文学部 社会学科 社会学専攻）
概要	特に第6回から第13回まで、川崎と世田谷でそれぞれ特徴的なまちづくり活動を行っているキーパーソンの方々に外部講師として来ていただき、受講生と共にケーススタディを行った。
<p>特に第6回から第13回まで、川崎と世田谷でそれぞれ特徴的なまちづくり活動を行っているキーパーソンの方々に外部講師として来ていただき、受講生と共にケーススタディを行った。</p>	

11 住み続けられる
まちづくりを




Check! P.66

専門教育科目	「社会学専門演習Ⅱ」
担当教員	李 妍焱（文学部 社会学科 社会学専攻）
概要	「地域プロジェクトで市民育ち」というテーマで、まちづくりのプロジェクトに参加する若者がどのように市民として成長するのかについて、通年で参加型の調査研究を実施した。
	

11 住み続けられる
まちづくりを



Check! P.45

専門教育科目	「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」
担当教員	小野瀬 拓（経営学部 市場戦略学科）
概要	世田谷区にお住いの皆様に正しい認知症の認識を広めるため、世田谷区高齢福祉部介護予防・地域支援課のご協力のもとポスターを制作した。このためにミーティング、講義、展示会などを行った。
	

11 住み続けられるまちづくりを



包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

SDG:11を取り扱った研究



11 住み続けられるまちづくりを



教員	土谷 敏治（文学部 地理学科 地域文化研究専攻）
研究テーマ	地方都市における交通問題
地方都市における公共交通機関の課題	

11 住み続けられるまちづくりを



教員	瀬戸 寿一（文学部 地理学科 地域文化研究専攻）
研究テーマ	3D都市モデルとオープンジオデータの活用に関する研究
近年、デジタルツインやスマートシティで注目されている詳細な地理空間情報の一つである3次元都市モデルやオープンな地理空間情報について、国内での整備状況や海外都市での活用事例について調査研究を進めている。	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p> </div> </div>	

11 住み続けられるまちづくりを



教員	西山 弘泰（文学部 地理学科 地域文化研究専攻）
研究テーマ	地方都市における空地の利活用
全国の都市におけるDID（人口集中地区）における面積や人口密度の変化から、都市のスポンジ化の現状を把握した。なお、研究結果は2023年3月発行の『地域学研究』にて発表した。	

11 住み続けられるまちづくりを



教員	姉齒 暁（経済学部 商学科）
研究テーマ	五泉農民会館受託研究「食農教育」と地域再生
<p>エシカル消費と公共の役割</p> <p>地産地消を通じた地域内循環を通じて農村の活性化、学校給食を通じた環境問題への取り組み事例を分析する。</p>	

Check! P.72



11 住み続けられる
まちづくりを



包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で
持続可能な都市及び人間居住を実現する

SDG:11に関する教員の活動

11 住み続けられる
まちづくりを



教 員 土'谷 敏治（文学部 地理学科 地域文化研究専攻）

茨城県ひたちなか市との市民行動の共同調査

市民の日常行動調査と公共交通利用の啓蒙。
自家用車利用から公共交通利用への移行促進。



11 住み続けられる
まちづくりを



教 員 西山 弘泰（文学部 地理学科 地域文化研究専攻）

宇都宮市中心市街地活性化のための市民組織「西口懇談会」主宰

地方都市中心市街地の賑わいづくり創出のため、地域（自治会、地元企業、行政等）と連携し、
河川敷や駅前ペDESTリアンデッキにおいて交流イベント（音楽ライブや飲食）を実施した。



経営学部の中村公一ゼミが「廃油キャンドル体験イベント」を開催

経営学部の中村公一ゼミの3年生（22期生）が、11月19日（土）に株式会社トリドールジャパンが展開するコナズ珈琲幕張店にて、廃油を使いキャンドルを作る家族向けのイベントを同社と共同で開催しました。

本イベントは、2022年3月に開催された「トリドール持続可能ビジネスコンテスト」の最優秀プランを実現させたものです。コナズ珈琲では廃油の90%以上をリサイクルしていますが、今回は身近な飲食店から出た廃油の新しい活用を通して環境を考えるきっかけにするべく、キャンドルを作成しました。誰でも作成できるように試行錯誤を重ねて手順をマニュアル化し、小さいお子様でも安全に失敗なく作成することができました。また、あわせて環境教育となるクイズも用意し、イベントを楽しんでいただきました。



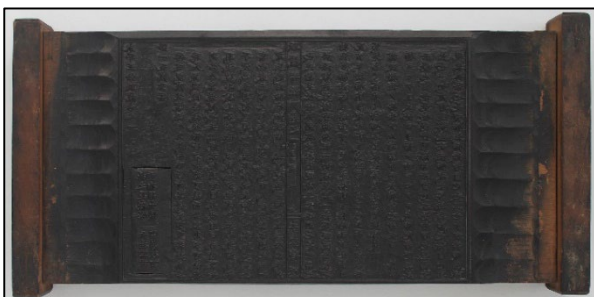
『正法眼蔵辨註』版木を使用した摺り作業

駒澤大学は、今を遡ること140年前の1882年に、曹洞宗大学林専門本校として開校しました。当時は、僧侶とその子弟を育成する機関であり、授業で使用する教科書も仏教の経典や禅籍が中心でした。

開校の頃の教科書類は木版印刷と呼ばれる木の板に文字を彫り、顔料をつけて摺りこむ技術で印刷されました。当時の本学では、教科書などの一部は学内で印刷していたため、現在でも本学内には、当時の教科書等の印刷に使用した版木が多く残されています。

当館では、平成22（2010）年度から、アダチ版画研究所に依頼し『正法眼蔵辨註』版木を使用した摺り作業を行っています。

12月13日・14日には、学生、教職員に向けて作業の見学会を行いました。



『正法眼蔵辨註』版木





持続可能な消費生産形態を確保する

SDG:12を取り扱った授業



専門教育科目	「演習Ⅱ」
担当教員	松田 健（経済学部 現代応用経済学科）
概要	<p>演習Ⅱで行う研究の主題でしたので、「回」ではなくて半年間かけて、研究課題として取り扱いました。内容は、SDGsの普及とともに注目が集まってきている食品ロス問題。家庭系・事業系に分類される食品ロスの中で、私たちは事業系食品ロスに該当するブライダル業界に着目し、様々な理由から食べ切れずに残ってしまった料理を持ち帰るための手段を提案するものであります。</p> <p>令和2年度、日本では約522万トンもの食品ロスが発生した。この数値はWFPによる食糧支援の総計440万トンの約1.2倍にもものぼり、日本の食品ロスだけでも約1億5、000万人分の食糧支援に相当する。更に、年間で発生する食品ロスの内訳は、個人の取り組みが成果を出しつつある家庭系食品ロスに比べ、事業系食品ロスは企業内の取り組みが多いことから、食べ残しについての対策が十分でないことがわかった。</p> <p>事業系食品ロスを減らすためには企業内努力だけではなく、料理を提供した後に消費者へ働きかける必要があると仮説を立てた。外食産業のうち、披露宴や宴会の食べ残し量の割合は食堂とレストランの合計の約4倍の数値であることが確認できる。</p> <p>その中でも、華やかで盛大な人生の一大イベントであるはずの結婚披露宴という、幸せの裏側で多くの食品ロスが発生していることは非常にもったいなく、悲しいことでもある。そこで実際に、なぜ結婚披露宴で提供される料理が残されてしまうのか、現在披露宴会場では食品ロス削減のためにどのような対策が行われているかを調査した結果、食べきれなかった料理があるにもかかわらず、料理を持ち帰るという選択肢がないということが明らかになった。</p> <p>課題解決のため、私たちは披露宴の参列者が食べ切れなかった料理を持ち帰ることができる手段を提案する。日本でドギーバッグが普及していない現状や、衛生面、消費者の心情などを踏まえ、その課題を解決するために「幸せのお裾分けBOX」を提案した。</p>



専門教育科目	「企業論」
担当教員	鹿嶋 秀晃（経営学部 経営学科）
概要	フェアトレード

12 つくる責任
つかう責任




持続可能な消費生産形態を確保する

SDG:12を取り扱った授業

12 つくる責任
つかう責任



専門教育科目	「演習Ⅱ」
担当教員	中村 公一（経営学部 経営学科）
概要	廃油キャンドル作成イベント コーヒー店から排出される廃油を使いキャンドルを作成する。
	

Check! P.52

12 つくる責任
つかう責任



全学共通科目	「英語ⅠA a/ⅠA b」 「英語ⅡA a/ⅡA b」
担当教員	クナート ハナ（総合教育研究部 外国語第一部門）
概要	SDGのテーマが多いの教科書を選びました。 毎週の授業で、環境問題などのトピックについて読んだり、話したりしました。





気候変動及びその影響を軽減するための 緊急対策を講じる

STEAM教育講座

「目指せデータサイエンティスト！～地球温暖化の姿を知ろう～」

8月31日（水）に、世田谷区立教育総合センターにおいて、同センターが実施している「STEAM教育講座」として、世田谷区内の小学5.6年生を対象としたワークショップ「目指せデータサイエンティスト～地球温暖化の姿を知ろう～」を本学総合教育研究部自然科学部門の坂野井 和代 教授が講師となって、開催しました。

当日は22人の小学生が参加し、日本各地の今と昔の気象データを比較検証し、地球温暖化の姿を探ることを通じて、社会の問題をデータ分析によって解決する「データサイエンス」とは何か学びました。参加した児童はタブレットを使ってデータをグラフで表し、グラフから読み取ることができる事象は何かを調べ、そこから得た発見をグループにて検討し互いに発表しあうなど、意欲的に講座に参加していただきました。

本取り組みは、本学が参画している「世田谷プラットフォーム」が、地域活性化を目的に世田谷区及び産業界と共同で企画の上実施する事業です。駒澤大学を含む区内6大学がそれぞれもつリソースを活かし講座を展開しています。

当日の講座運営は世田谷区教育委員会、株式会社そごう・西武のほか、世田谷プラットフォーム加盟大学により執り行われました。



13 気候変動に
具体的な対策を





気候変動及びその影響を軽減するための 緊急対策を講じる

SDG:13を取り扱った授業

13 気候変動に
具体的な対策を



専門教育科目	「仏教研究B」「日用経典」「仏教学入門」
担当教員	奥野 光賢 (仏教学部 仏教学科)
概要	仏教の説く「少欲知足」と「SDGs」の関係について簡単にふれた。
 	

13 気候変動に
具体的な対策を



専門教育科目	「演習II」
担当教員	小西 宏美 (経済学部 商学科)
概要	ESG投資の実態と今後の課題
<p>ESG投資が、気候変動問題に対してより効果的に機能するための方策について、グループで論文をまとめた。</p>	

13 気候変動に
具体的な対策を



専門教育科目	「証券市場論」
担当教員	深見 泰孝 (経済学部 商学科)
概要	グリーンボンドの発行とその課題
<p>公社債発行市場の現状について知ることを目的とした回で、最近の変化の一つにESG債の発行を挙げ、ESG債の種類、市場規模などの概略の説明とグリーンボンドを発行した事例を取り上げ、その目的などを解説した。また、グリーンボンドに関わる課題も説明した。</p>	

13 気候変動に
具体的な対策を



専門教育科目	「経営学A」「現代企業論B」
担当教員	小本 恵照 (経営学部 市場戦略学科)
概要	企業の社会的責任

13 気候変動に 具体的な対策を








気候変動及びその影響を軽減するための
緊急対策を講じる

SDG:13を取り扱った研究

13 気候変動に 具体的な対策を



教 員	川崎 浩太郎 (文学部 英米文学科)
研究テーマ	ポストヒューマン・ホイトマン：『草の葉』における物質的アイデンティティの諸相
19世紀のアメリカ詩人ウォルト・ホイトマンに、今日の環境問題と繋がる環境意識を見いだす。	
    	

13 気候変動に 具体的な対策を




教 員	村田 渉 (医療健康科学部)
研究テーマ	診療放射線技師を対象とした放射線災害時におけるリスクコミュニケーションについての研修の体系化及び放射線災害時における診療放射線技師を活用した支援体制の構築に関する調査研究
放射線災害が発生した際のオールジャパンでの対応する体制の構築	

SDG:13に関する教員の活動

13 気候変動に 具体的な対策を



教 員	坂野井 和代 (総合教育研究部 自然科学部門)
世田谷区教育総合センターSTEAM教育ワークショップの講師 簡単なデータ可視化を通して地球温暖化について調べるワークショップ	
	

Check! P.55

14 海の豊かさを
守ろう



持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、
持続可能な形で利用する

「環境問題」を学ぶ自然分野の教養教育科目

本学では、全学共通科目の、自然分野の教養教育科目として「環境問題」を扱う科目を多数開講しています。

地球科学、物理学、化学、気候学、気象学、環境科学、火山学、地震学、生物学といった様々な観点から、現在進行形の汚染問題や地球温暖化などの地球規模の環境問題を科学的な視点でとらえ、自然について幅広く体系的な教養を身につけた人材を養成することを目指しています。

(おもな開講科目)

- ・ 自然科学へのいざない
 - ・ 太陽系・地球環境システム入門
 - ・ 生命と環境
 - ・ 地球システムと自然災害
 - ・ 気象と自然災害
 - ・ 汚染問題を考える
 - ・ 資源と環境を考える
 - ・ 地球温暖化を考える
- など



地域環境クリーン活動について

駒澤大学では、恒常的に地域貢献を図る活動の一環として、定期的に駒沢キャンパスと大学周辺地域の清掃を行う「地域環境クリーン活動」を実施しています。

6月7日（火）に行われた「上馬クリーンキャンペーン」に学生有志と職員が参加しました。参加者は早朝8時に集合し、世田谷区上馬地区の清掃活動を実施しました。

今回は任意団体サークルの「ECO・環境保護サークル Green Grow」も協力し、周辺地域の街の美化活動に取り組むとともに、地域の方々とも交流するなど貴重な機会となりました。



15 陸の豊かさも
守ろう



陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

世田谷シニアスクールで 「世界遺産屋久島の自然と環境変化」について講義

世田谷区のシニアの方が自主活動する「世田谷シニアスクール」では、本学の教員が特別講義を行っています。

7月12日（火）に本学記念講堂で行われた2022年度第1回シニアスクールでは、文学部 地理学科 江口 卓 教授が「世界遺産屋久島の自然と環境変化」を演題に講義を行いました。

講義では、どうして屋久島が世界自然遺産に登録されたのか、また自然保護と観光の両面から世界自然遺産に登録される前後の屋久島の環境の変化について、事例を交えてわかりやすく解説されました。



駒沢キャンパス内の植栽にQRコード付きのネームプレートを設置

駒沢キャンパス内の植栽にQRコード付きのネームプレートを設置しました。QRコードを読み取ると、Web植物図鑑「花ペディア」（アボック社）のページが開き、分類や原産地、特徴などを知ることができます。また、花の写真なども多数掲載されており、四季折々の植物の様相と実物を比較し楽しむことができます。学内には本学の前身であり、校歌の歌詞としても親しまれている学林「旃檀林」の由来である「センダン（梅檀）」の樹木をはじめ、多数の植栽が植えられています。

ネームプレートを設置することで植栽管理の利便性向上を図るほか、大学を利用する多くの皆さまに植物への関心を寄せていただくことも期待しています。



15 陸の豊かさも
守ろう





陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

SDG:15を取り扱った授業

15 陸の豊かさも
守ろう




全学共通科目	「生物学の基礎」
担当教員	清水 善和（総合教育研究部 自然科学部門）
概要	里山の伝統的利用、放棄され荒れた現状、今後の活用方法について
 	

SDG:15に関する教員の活動


15 陸の豊かさも
守ろう



教員	西山 弘泰（文学部 地理学科 地域文化研究専攻）
カマクリ協議会（官民連携まちなか再生推進事業）委員 宇都宮市中心部を流れる小河川「釜川」周辺の環境美化と エリアマネジメントを目指す「カマクリ協議会」に有識者委員として参加している。	
	

15 陸の豊かさも
守ろう



教員	清水 善和（総合教育研究部 自然科学部門）
樹木環境ネットワーク協会理事長 協会が主催するグリーンセイバー検定の実施、各地の里山復元の市民活動の支援。	
	

16 平和と公正を
すべての人に



持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

ウクライナへの人道支援緊急募金

「仏教の教えと禅の精神」を建学の理念に掲げ、「智慧」と「慈悲」を一身に具える人材の養成を目的に教育・研究活動を行っている本学は、すべての生きとし生けるものにとって、命は等しく尊く、かけがえのないものとして考えています。その尊い命を奪い合う行為に憤りを覚えるとともに一刻も早く平和がもたらされることを願ってやみません。

この度、本学では、ウクライナへの人道支援を目的とした募金活動を実施しました。多くの皆様方より、心温まるご支援を頂戴しましたことに、厚く御礼申し上げますとともに、下記のとおり、ご報告申し上げます。

【募集期間】4月18日（月）～5月18日（水）

【お預かりした募金の取扱い】

5月31日（火）に、お預かりした募金額全額を日本赤十字社「ウクライナ人道危機救援金」へ送金いたしました。

日本赤十字社を通じ、ウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動の支援に充てられます。

総合教育研究部 外国語第二部門 公開講演会 「ウクライナとロシア —あるいは小説家ゴーゴリの生涯—」

総合教育研究部 外国語第二部門が公開講演会を開催しました。

公開講演会 @ 駒澤大学
ウクライナとロシア
あるいは小説家ゴーゴリの生涯
登壇者 三好俊介
12月16日(金) 14:40~16:10

ウクライナとロシアの現状について、歴史をふまえながら基本的な事実関係と今後の見通しを解説します。講演者は外交実務経験者（元日本国外務省専門調査員）のため時事的な情勢も紹介しますが、日々の情勢変化よりは歴史と文化に重点をおいた内容です。ウクライナ生まれのロシアの小説家ニコライ・ゴーゴリにも触れます。

・【ウクライナとロシア —あるいは小説家ゴーゴリの生涯—】

日 時：12月16日（金） 14：40～16：10

講 師：三好 俊介

（駒澤大学 総合教育研究部 外国語第二部門 准教授）

《概要》

ウクライナとロシアの現状について、歴史をふまえながら基本的な事実関係と今後の見通しを解説します。

講演者は外交実務経験者（元日本国外務省専門調査員）のため時事的な情勢も紹介しますが、日々の情勢変化よりは歴史と文化に重点をおいた内容です。ウクライナ生まれのロシアの小説家ニコライ・ゴーゴリにも触れます。

16 平和と公正を
すべての人に



持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

法科大学院「市民ロースクール」

駒澤大学法科大学院では、世田谷区にある唯一の法科大学院として、身近な法律の問題に関する情報や知識を提供するための連続講座、「市民ロースクール」を開催しています。

第18回 市民ロースクール 【2022年 7月2日（土）10：00～11：30】
「人生の節目における財産管理」

第19回 市民ロースクール 【2022年12月3日（土）10：00～11：30】
「弁護士の選び方、付き合い方講座」



法科大学院「無料法律相談会」

法曹養成機関である法科大学院においては、法学理論だけでなく実務の基礎についても実践的な教育を必要とします。

駒澤大学法科大学院では、臨床教育の一環として、また世田谷区唯一の法科大学院としての地域貢献を目的として、年に数回、「無料法律相談」を開催（共催・後援）しています

2022年度

春季：無料法律相談会 【 5月21日（土） 】

秋季：無料法律相談会 【11月19日（土） 】

16 平和と公正を
すべての人に





持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

SDG:16を取り扱った授業





16 平和と公正を
すべての人に



専門教育科目	「演習Ⅰ・Ⅱ」
担当教員	大澤 邦由（仏教学部 禅学科）
概要	お肉の情報館（芝浦と場）の見学
<p>日常的に食べる食べ物がどこからどのように来るのか、私たちは普段気にせずに生活している。特に大型動物に関しては屠畜という処理を経なければ我々の口に入ることはない。屠畜やお肉の加工に意識を向けることは、普段の食事のありがたさを考えるきっかけとなるとともに、貧困や飢餓の問題に意識を向けるきっかけともなるであろう。また、屠畜の問題は偏見や差別という人権の問題とも関連し、思想的な面から言えば、仏教の殺生戒との関係もあるとされている。これらのことを考えるためのきっかけづくりとして、品川にある芝浦と場「お肉の情報館」を演習の校外実習として見学した。</p>	
 	

16 平和と公正を
すべての人に



専門教育科目	「アメリカ文学特講Ⅰ」
担当教員	東 雄一郎（文学部 英米文学科）
概要	アメリカ、カリフォルニアに暮らす、ノマッドと呼ばれる高齢者の貧困問題を扱い、『ノマッドランド』というドキュメンタリー映画を観て、その感想や問題を学生に論述してもらった。
<p>世界に蔓延する経済格差を学生に認識させる。</p>	
   	

16 平和と公正を
すべての人に



持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

SDG:16を取り扱った授業

16 平和と公正を
すべての人に



全学共通科目	「ロシア語ⅠA」「外国文化（5）」「外国文学を学ぶ（7）」 「ロシア語で学ぶ教養（社会Ⅰ/Ⅱ）、（人文Ⅰ/Ⅱ）」
担当教員	三好 俊介（総合教育研究部 外国語第二部門）
概要	「ウクライナ問題」と、平和の重要性について
<p>現在進行中の「ウクライナ問題」の経緯や歴史的背景を説明し、「異なる文化の尊重」および「国際問題を武力によらず解決すること」の必要性について講義した。 （ロシアとウクライナはともに、広い意味でのロシア語使用地域に含まれる）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシア語や、ロシア語圏の事情を学ぶにあたり必要な基本的心構えとして、本来の語学学習の合間に時間をとって行った。（ロシア語ⅠAa/ⅠAb） ・当該授業は「ロシア語圏の文化」を主なテーマとするが、学習にあたり必要な基本的心構えとして、すべての授業回においてこの問題に言及した。（外国文化（5）） ・当該授業は「ロシア語圏の文学」を主なテーマとするが、学習にあたり必要な基本的心構えとして、本来の学習の合間に時間をとって行った。（外国文学（7）） ・ロシア語や、ロシア語圏の事情、文化を学ぶにあたり必要な基本的心構えとして、特別に時間を割いて行った。（ロシア語で学ぶ教養（社会Ⅰ/Ⅱ）、（人文Ⅰ/Ⅱ）） 	

SDG:16を取り扱った研究

16 平和と公正を
すべての人に



教員	石井 清純（仏教学部 禅学科）
研究テーマ	ハワイの日本仏教寺院の文化財調査(科研基盤B)
<p>ハワイの日本仏教各宗派の寺院所蔵の資料の調査・保存 ハワイの日本仏教各派の寺院に所蔵される資料を調査する。 文献や写真だけでなく、仏像などの美術品も対象とし、虫害などの調査・補修を行う。 同時に移民の歴史、戦中戦後史の再検討を行うことで、民族移動の歴史と実像を明確化する。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 10 人や国の不平等をなくそう </div> <div style="text-align: center;"> 17 パートナリシップで目標を達成しよう </div> </div>	



持続可能な開発のための実施手段を強化し、
グローバル・パートナーシップを活性化する

「駒澤大学×SDGs 学生対象 意識調査」を実施

本調査は、駒澤大学の学生（学部生・大学院生）を対象として、本学の学生がSDGsについてどのような関心をもっているのか、どのような活動をしたのか、そのためにどのようなことを学びたい、経験したいと考えているのかを知るために行ったものであり、今後の本学のSDGs活動の推進施策を講じる際に役立てることを目的としています。

本調査の結果は「2022（令和4）年度 駒澤大学×SDGs学生対象意識調査 結果報告書」として公表しています。

【調査手法】

調査期間：2022年12月16日（金）～2023年2月12日（日）

調査方法：インターネットアンケート調査

Google Formsを利用し、学部生を対象する調査票および大学院生を対象とする調査票を用いて、ひとり1回の回答としました。

有効回答数：学部生（215名）大学院生（3名） 計 218名 回収率 1.54%

このうち「SDGsの目標について、駒澤大学に期待する取り組みはどの目標ですか。

最も期待する目標をひとつ選択してください。」と聞きました。

その結果、本学学生が本学に取り組んでほしいと期待する目標は以下のとおりでした。

SDG 1 貧困をなくそう	8%	18名	
SDG 2 飢餓をゼロに	3%	7名	
SDG 3 すべての人に健康と福祉を	5%	11名	
SDG 4 質の高い教育をみんなに	48%	105名	
SDG 5 ジェンダー平等を実現しよう	8%	17名	
SDG 6 安全な水とトイレを世界中に	1%	3名	
SDG 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	3%	7名	
SDG 8 働きがいも経済成長も	1%	3名	
SDG 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	2%	4名	
SDG10 人や国の不平等をなくそう	3%	7名	
SDG11 住み続けられるまちづくりを	1%	3名	
SDG12 作る責任 使う責任	3%	6名	
SDG13 気候変動に具体的な対策を	1%	3名	
SDG14 海の豊かさを守ろう	1%	2名	
SDG15 陸の豊かさを守ろう	1%	2名	
SDG16 平和と公正をすべての人に	7%	15名	
SDG17 パートナーシップで目標を達成しよう	2%	5名	

今後は、本調査の結果も活用し、本学のSDGsの達成に向けた取り組みを推進していきます。



持続可能な開発のための実施手段を強化し、
グローバル・パートナーシップを活性化する

令和4（2022）年度「駒大生社会連携プロジェクト」

駒澤大学では、令和4（2022）年度より「駒大生社会連携プロジェクト」として本学における社会連携・地域貢献にかかわる教職員・学生の様々な活動への支援を目的とした学内公募型の助成がスタートしました。

これは本学の定める「社会連携・社会貢献に関する基本方針」に基づき、大学と社会が協働して課題を発見・共有し、新たな価値を生み出す活動を促進するための制度として設けられたものです。

令和4年度「駒大生社会連携プロジェクト」では、

- （1）世田谷部門
- （2）産官学連携部門
- （3）SDGs部門 の3つのテーマを設けており、今回は合計7件の申請がありました。

外部審査員の評価、および社会連携委員会等で審議した結果、今年度は7件すべてを採択プロジェクトとすることとなりました。

《令和4（2022）年度 外部審査員として協力いただいた機関等 ※順不同》

世田谷区等の関係自治体：世田谷区 経済産業部 様

金融機関関係者：昭和信用金庫 様

産業界関係者：東急株式会社 様

市民活動団体：一般社団法人 市民セクター政策機構 様

今年度採択プロジェクト7団体による報告会を2023年2月18日にオンラインで開催し、プロジェクトメンバーによる活動報告の後、外部審査員による講評を頂戴しました。



(1) 世田谷部門

【動画制作を通じた「せたがやの居場所」発信プロジェクト】
(経済学部 現代応用経済学科 松本 典子先生)

【PBL型授業のモデル構築 - 世田谷発の起業家教育 -】
(経済学部 現代応用経済学科 長山 宗広先生)

【地域プロジェクトで市民育ち - 用賀と深沢における参加型調査研究 -】
(文学部 社会学科 社会学専攻 李 妍焱先生)

(2) 産官学連携部門

【産学連携による新商品開発と新たな販路開拓の実践プロジェクト
～地場産業の新商品開発と中小企業の海外販路開拓の事例～】
(経済学部 現代応用経済学科 吉田 健太郎先生)

【社会連携ゼミ交流会】
(経済学部 現代応用経済学科 大前 智文先生)

【難民を知り、共生へ ～クルド人に学ぶ～】
(法学部 政治学科 三竹 直哉先生)

(3) SDGs部門

【新入生セミナー×現代応用経済学科ラボラトリ コラボ企画
「現応ラボ 社会連携・SDGs活動セミナー」
「現応ラボ 社会連携・SDGs交流会」】
(経済学部 現代応用経済学科 山田 雅俊先生)





持続可能な開発のための実施手段を強化し、
グローバル・パートナーシップを活性化する

経営学部の菅野佐織ゼミが 「Sカレ (Student Innovation College) 2022」でプラン優勝

経営学部の 菅野 佐織ゼミが、12月11日（日）に関西大学で開催された「Sカレ (Student Innovation College) 2022」でプラン優勝しました。

この大会は、大学3年生が商品企画をして実際に商品化を目指す、大学ゼミ対抗のインターカレッジ（産学連携プロジェクト）です。今年は31大学36ゼミ531人が参加し、8つの企業が設定した企画テーマについて企画提案をしました。

菅野ゼミからは5チームが出場し、株式会社ディーエイチシーの『地球が笑顔になる通販配送箱』というテーマから、

佐々木 優衣 さん（経営学部 市場戦略学科 3年）、
寺田 さくら さん（経営学部 市場戦略学科 3年）、
橋本 奈々 さん（経営学部 市場戦略学科 3年）の
チームがプラン優勝を果たし、商品化されること
となりました。

同チームは「商品を受け取った人が『誰かに送りたくなる』通販配送箱」をコンセプトとした「Re:pack (リパック)」を提案しました。



本学の留学生が世田谷区教育委員会・世田谷区主催の 「教育総合センターメッセ」に協力

12月10日（土）、世田谷区立教育総合センターにおいて開催された「世田谷区制施行90周年・教育総合センター開設1周年 教育総合センターメッセ」にて、本学に在籍する留学生3人が協力しました。留学生は「区内大学の留学生と交流遊び」というプログラムにおいて、母国のゲームや各国語のじゃんけんを子供たちに紹介しました。





持続可能な開発のための実施手段を強化し、
グローバル・パートナーシップを活性化する

株式会社パレオ・ラボと産官学連携協定

「埋蔵文化財の調査・研究推進と人材育成に関する包括協定」を締結

株式会社パレオ・ラボと駒澤大学は、6月1日（水）付で、研究・教育分野で緊密な協力関係を築き、研究推進と学生の研究意欲向上や将来的な人材育成を行うことを目的とした包括協定を締結しました。

株式会社パレオ・ラボは、日本国内にとどまらず考古学に関する発掘調査研究に協力し、必要な専門分析を行っているほか、若手研究者への助成などを広く手掛けられています。

この協定に基づき、人文科学研究科歴史学専攻修士課程の3人が、9月5日（月）～9日（金）、9月12日（月）～16日（金）の期間、株式会社パレオ・ラボのインターンシップ（職場体験）に参加し、花粉分析を実施しました。そして9月28日（水）に、インターンシップで得られた経験を文学部歴史学科考古学専攻の3年生に報告しました。

今後も、同社のインターンシップへ学生を派遣することにより、本学学生から将来の研究者を輩出する一助となることが期待されます。





持続可能な開発のための実施手段を強化し、
グローバル・パートナーシップを活性化する

特定非営利活動法人 肺がんCT検診認定機構と 「包括連携に関する協定」を締結

特定非営利活動法人肺がんCT検診認定機構と駒澤大学は、4月1日（土）付で、肺がんリスク軽減を目指し、低線量CTによる肺がん検診の精度向上を目指して行われる事業において、相互に連携・協力し、本学在校生の社会貢献活動の支援を図り、日本国民の肺がん死の低減に寄与することを目的とした包括協定を締結しました。

この包括協定に基づく主な連携事業として

- (1) 肺がんCT検診認定医師及び肺がんCT検診認定技師の講習に関する事業
- (2) 肺がんCT検診認定技師の認定試験に関する事業
- (3) 上記事業における本学在校生および卒業生への教育等の還元 などがあります。

今年度は、医療健康科学部の新井 知大 講師を東日本実行委員長として、7月2日（土）に第25回認定技師認定試験、12月17日（土）に第26回認定技師認定試験を、本学を会場として実施しました。



認定技師認定試験の異常所見検出試験の様子
(12/17：駒沢キャンパス1号館201教場)





持続可能な開発のための実施手段を強化し、
グローバル・パートナーシップを活性化する

禅文化歴史博物館が道元禅師直筆『正法眼蔵嗣書』草案本の レプリカ作製のためクラウドファンディングを実施

当該プロジェクトは、当館が所蔵する道元禅師真筆『正法眼蔵嗣書』修訂本（清書版）の下書きにあたる草案本（全国11ヶ寺に分散・所蔵）のレプリカを作製し、一堂に展示することを目指すものです。クラウドファンディング（寄付）には、多くの心のもったご支援をいただき、目標金額を大きく上回り達成出来ました。

今年度は関西・西日本に所在する6ヶ寺7点のレプリカを作製し、無事に第1期分が完成しました。この道元禅師真筆『正法眼蔵嗣書』草案本レプリカは当館所蔵の修訂本（清書版）と共に展示しています。

2年目（令和5年度）以降に北陸・東日本に所在する残りの「草案本」のレプリカ作製を進める予定です。



開校140周年記念特別展示
『正法眼蔵嗣書』の成立
～草案本と修訂本～
2023年1月16日（月）
～7月31日（月）

駒澤大学開校140周年・禅文化歴史博物館開館20周年記念事業として道元禅師真筆『正法眼蔵嗣書』草案本レプリカ作製を2箇年度にわたって実施しています。クラウドファンディングでのご支援も賜り、無事に第1期分が完成しましたので、当館所蔵の修訂本（清書版）と共に展示いたします。

開館時間：10：00～16：30
（最終入館 16:15迄）
休館日：土（第3土曜日を除く）・日・祝
その他大学の休業日に準ずる

駒澤大学禅文化歴史博物館
〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
TEL：(03)3418-9610 FAX：(03)3418-9611





持続可能な開発のための実施手段を強化し、 グローバル・パートナーシップを活性化する

受託研究・共同研究・寄付講座

駒澤大学では、産学連携事業の推進として、受託研究の受入れ、共同研究の実施および寄付講座の設置等により、「研究成果の社会への還元」と「大学と社会が協働して課題を発見・共有し、新たな価値を生み出す活動」を展開しています。

【2022年度 受託研究 ※事例抜粋】

本学教員	姉齒 暁（経済学部 商学科）
委託者	一般財団法人 下越農民会館
研究課題	継続課題：社会福祉としての食と農のあり方を考える 新規課題：スウェーデン、ルンド市における無料学校給食および高齢者の食を支えるシステムから日本のコロナ後の「食と農、地域」の連携を考える
研究目的 (内容)	スウェーデンの無償学校給食および高齢者にたいする食の支援の現状と課題を日本の現状と比較しながら、コロナによってもたらされた新たな知見を加え、今後の食育事業のあり方を検討する。

本学教員	新井 知大（医療健康科学部）
委託者	環境省
研究課題	診療放射線技師を対象とした放射線災害時におけるリスクコミュニケーションについての研修の体系化及び放射線災害時における診療放射線技師を活用した支援体制の構築に関する調査研究
研究目的 (内容)	放射線災害時における診療放射線技師を活用した支援体制の構築に関する検証

本学教員	新井 知大（医療健康科学部）、村田 渉（医療健康科学部）
委託者	公益社団法人 日本診療放射線技師会
研究課題	診療放射線技師の業務実態把握から診療報酬等の政策要望に活かす研究調査事業
研究目的 (内容)	診療放射線技師の勤務実態、業務環境から政策または診療報酬にその対価を要望する際の基礎となる公開可能な客観的データを集め、保険点数または施設基準を要望する際の根拠を持った資料の作成を目指す。

17 パートナシップで
目標を達成しよう



持続可能な開発のための実施手段を強化し、
グローバル・パートナーシップを活性化する

【2022年度 共同研究】

本学教員	永田 陽子（文学部 心理学科）
共同研究機関	国立研究開発法人理化学研究所、国立大学法人九州大学、 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、国立大学法人東京工業大学
研究課題	開放系マインドモデリング研究
研究目的 (内容)	脳神経科学におけるマイクロ・マクロ双対性の解明

本学教員	藤田 幸男（医療健康科学部）
共同研究機関	国立研究開発法人 産業技術総合研究所、国立大学法人東京医科歯科大学
研究課題	X線および電子線に対する空気のW値の絶対評価に関する研究
研究目的 (内容)	電離箱線量計に関してX線および電子線に対する空気のW値の絶対評価を行う。

【2022年度 寄付講座】

科目	「法式実習」仏教学部 専門教育科目
担当教員	角田 泰隆（仏教学部 禅学科）
寄付団体	曹洞宗施檀林講座支援会

科目	「アドバンスマーケティング」 グローバル・メディア・スタディーズ学部 専門教育科目
担当教員	朴 正洙（グローバル・メディア・スタディーズ学部）
寄付団体	新日本製薬株式会社

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



持続可能な開発のための実施手段を強化し、
グローバル・パートナーシップを活性化する

SDG:17を取り扱った授業

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



専門教育科目	「演習Ⅱ」
担当教員	鹿嶋 秀晃（経営学部 経営学科）
概要	L G B T Q +

SDG:17を取り扱った研究

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



教 員	石井 清純（仏教学部 禅学科）
研究テーマ	『正法眼蔵』の国際的・学際的研究
<p>『正法眼蔵』を欧米各国の研究者とともに講読し、その内容的理解を深化させる 不安定な世界情勢の中、思想的な対立緩和の為に仏教思想が重要されている。 とりわけ宗教の枠組みを超えた思想・哲学として世界的に注目される『正法眼蔵』に的を絞り、 その思想を世界的に共有する。</p>	




SDGs全般を取り扱った授業



全学共通科目	「 仏教と人間 」
担当教員	山口 弘江 (仏教学部 仏教学科)
概要	仏教とSDGs
SDGsの各目標の特徴を踏まえた上で、仏教の思想や文化との接点を考える。	



専門教育科目	「 市民社会論 」
担当教員	李 妍焱 (文学部 社会学科 社会学専攻)
概要	市民社会論 第13回市民社会的実践(2) SDGs、CSR、財団、ソーシャル・イノベーション
SDGsのSDGs市民社会ネットワークの星野智子さんに外部講師として来ていただき、市民社会の観点からSDGsの捉え方と課題についてご講演をいただいた。	
	



専門教育科目	「 流通論基礎 a / b 」
担当教員	姉齒 暁 (経済学部 商学科)
概要	SDGsと運輸、モーダルシフト、SDGsと消費・生活行動
輸入型環境破壊問題と先進国の責任、流通分野の取り組みとその障壁となっている日本の構造的問題について理解を深める。マーケティングに組み入れるべき課題を抽出する。	
	



専門教育科目	「 消費経済論 a / b 」
担当教員	姉齒 暁 (経済学部 商学科)
概要	日本の公害の歴史とSDGs、サービス化社会の検証、教育機会の平等を阻害する要因
日本における環境問題を通じて現代に通じる教訓を得る。	
	



SDGs全般を取り扱った授業



専門教育科目	「 企業管理論 a（経営管理論 a） 」
担当教員	岩波 文孝（経済学部 現代応用経済学科）
概要	企業と社会の関係【外部環境（社会的環境・市場環境・自然環境と経営管理）】、企業活動と生産管理【グローバル経済と生産システム】、人的資源管理の歴史的展開と機能【労働のフレキシビリティ・雇用の多様化・人材のグローバル化】



専門教育科目	「 企業管理論 b（経営管理論 b） 」
担当教員	岩波 文孝（経済学部 現代応用経済学科）
概要	企業と社会をめぐるマネジメントの諸課題【CSR/CSV/SDGs】、グローバル化とマネジメント【グローバル経済・不均等発展・グローバル化に伴う企業の社会的責任】



専門教育科目	「 演習Ⅰ 」「 演習Ⅱ 」「 演習Ⅲ 」
担当教員	岩波 文孝（経済学部 現代応用経済学科）
概要	演習Ⅰ…企業と社会【CSR/CSV/SDGs】 演習Ⅱ…企業活動と社会発展【グローバル化と均等発展に向けた課題】 演習Ⅲ…企業活動と社会発展【グローバル化と均等発展、経済成長と働き方・働かせ方、イノベーション】



専門教育科目	「 現代企業論 a / b 」
担当教員	松田 健（経済学部 現代応用経済学科）
概要	取締役会改革の現状について：意思決定層における女性比率について 国籍や人種・エスニシティによって発生しうる企業内における社会的排除とそれへの対応



SDGs全般を取り扱った授業



専門教育科目	「国際社会入門」「比較政治学」「外書講読（英書）」
担当教員	三竹 直哉（法学部 政治学科）
概要	SDGsのマインドセットに焦点をあててその意義を理解する。
<p>SDGsのバックカスティングであることや、SDGsは個別バラバラのものではなく、人類と地球の持続のための一体かつ不可分の目標群であることを理解するように努めています。外書講読では国連総会で採択されたSDGsの文書の一部を読んでいます。</p>	



専門教育科目	「企業論」
担当教員	中川 淳平（経営学部 経営学科）
概要	CSRとリスクマネジメント
CSR活動の事例（カゴメ株式会社など）	



専門教育科目	「演習Ⅱ」
担当教員	菅野 佐織（経営学部 市場戦略学科）
概要	Student Innovation College（産学共同プロジェクト）に参加し、社会問題の解決と商品提案を行った。
<p>①環境保全のための配送箱の提案、②ロスフラワー問題への企画提案、③段ボールを使った商品提案、④アウトドアキャンプの際のごみの持ち帰りのためのトラッシュボックスの提案を行った。</p>	

Check! P.68



専門教育科目	「演習Ⅱ a/b」「演習Ⅲ a/b」
担当教員	Michael J Lynskey（グローバル・メディア・スタディーズ学部）
概要	Food Loss and Nutrition Education



SDGs全般を取り扱った授業



全学共通科目	「 学術英語読解a 」
担当教員	勅使河原 三保子（総合教育研究部 外国語第一部門）
概要	Sustainability
SDGsとして今日日本社会でも認識されるようになった持続可能性について理解を深めるため、持続可能な開発（Sustainable Development）の言葉が初めて定義されたブルントラント報告書（英文）の一部や、英語による持続可能性の入門書の一部を講読した。	



全学共通科目	「 英語 I A b 」 「 英語 I B a / I B b 」 「 英語 II B b 」
担当教員	勅使河原 三保子（総合教育研究部 外国語第一部門）
概要	Sustainability
SDGsとして今日日本社会でも認識されるようになった持続可能性について、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 成り立ちや3本柱を主に扱う英語のリスニングを行い、関連するテーマでディスカッションを行った。（英語 I A b） ・ 成り立ちや3本柱、各国のSDGsの達成状況を主に扱った英文を読み、自分の意見や調べた内容について英作文した。（英語 I B a / I B b） ・ 成り立ちや3本柱を扱う英文を読んだ後に、企業による取り組み等についても扱った英文を読み、各自自分の意見や調査した内容を英文にまとめた。（英語 II B b） 	

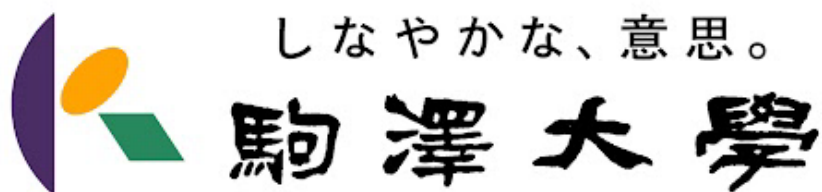


全学共通科目	「 英語 II A 」 「 英語 II B 」
担当教員	三木 望（総合教育研究部 外国語第一部門）
概要	Consumerism、他者に良い影響を与える（make a difference）というテーマ
日常品の生産の過程を調べて環境問題や労働問題の意識を高める。 住環境を改善する方法、技術によって生活を改善する方法などを学ぶ。	

SDGs全般に関する教員の活動



教員	三竹 直哉（法学部 政治学科）
青梅市職員向けSDGs研修（カードゲームSDGs）講師 SDGsを仮想世界に置き換えたシミュレーションカードゲーム「2030SDGs」を通じて「経済」「社会」「環境」にある様々な課題の相互の繋がり等について理解を深める。	



発行日 2023（令和5）年3月25日
発行 駒澤大学社会連携委員会
〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
TEL 03-3418-9218
FAX 03-3418-9774
事務局 駒澤大学 学術研究推進部 社会連携課（社会連携センター）